SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

形 名

ピーシー　エーエックス　エム

PC-AX50M
PC-AX100M

接続と準備編

はじめにお読みください。
操作については別冊の取扱説明書
レコーダー機能編、パソコン機能編
をご覧ください。

はじめに

設置・接続

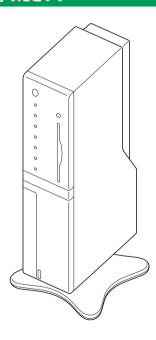
テレビの設定

パソコンの設定

付　録

（PC-AX100Mのみ）

GR GHOST REDUCTION

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（2ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

安全にお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です）

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用する

それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。
付属の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）です。

タコ足配線をしない

タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしない

故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない

また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、アンテナケーブルに触れない

感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したら、すぐに電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
修理を依頼してください。

⚠ 警告

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しない

火災の原因になります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付いているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにする
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用する
付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

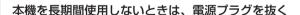
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない
発熱して火災の原因となることがあります。お買いあげの販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

電源プラグは、確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

AC アダプターおよび電源コードを取り扱う場合は、次のことを守る
発煙、発火、火災の原因になります。

- 落下させたり衝撃を与えないでください。
- つけ根部分を無理に曲げないでください。
- 重いものを載せないでください。
- 布などでくるまないでください。
- 保温性のある場所（温風ファンの前やホームこたつ付近など）で使わないでください。
- AC アダプターにコードを巻きつけないでください。
- コードを結んだり、束ねたりしないでください。

本機を長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

⚠ 注意

電源コードなどのケーブル類は、足などを引っかけないように整理する

ケーブル類を足などに引っかけたりすると、本機が落下して変形･故障の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

移動するときは、電源プラグを抜き、接続されているケーブルを外す

コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

小さな部品(ネジ、トラックボール部のボールなど)を取り外した場合は、幼児の手の届く所に置かない

小さな部品は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

本書に記載の場合を除いて、本機のキャビネットやカバーなどを取り外さない

内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となることがあります。
取り外すときは、本書に記載の取り外し手順に従ってください。

本機の開口部(通風孔やディスクスロット)などから本機内部に異物(金属片、液体、燃えやすいものなど)を入れない

火災・感電の原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

通風孔に付着したほこりやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

通風孔や内部にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
内部の掃除費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。

梱包で使用しているビニール袋は幼児の手の届く所に置かない

頭からかぶって鼻や口をふさぐと、窒息事故の原因となることがあります。

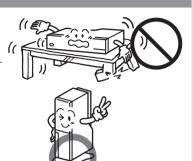
ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かない

中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

縦に置いた状態で使用するときは、必ず専用のスタンドを取り付けて使用してください。

目の健康のために、次のことを守る

- 連続して使用する場合は休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たるところでは、使用しないでください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴力に悪い影響を与える恐れがあります。

呼びかけられても返事ができるくらいの音量で使いましょう。

ヘッドホンをしたまま電源を入れたり切ったりしない

刺激音により聴力に悪い影響を与える恐れがあります。

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。

BS・110 度 CS デジタル放送受信アンテナは、強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない

通風孔をふさぐと、熱がこもり、火災の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしない

破損してけがの原因になることがあります。

上に物を置いたり、上に乗ったりしない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

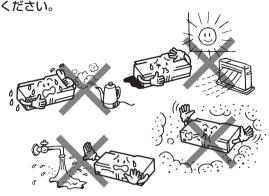
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置・保管するときのご注意

本機を次のようなところには設置・保管しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **扉付きのテレビ台や AV ラックの中**
- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**
- **不安定なところ**

通風孔をふさがないでください。

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのご注意

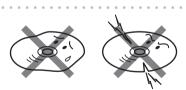
パソコン、キーボード、リモコンの上に重い物を載せたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

パソコン、キーボード、リモコンを強くたたいたり、落としたり、ゆすったりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。

飛び散ってけがの原因となることがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどに保存しておいてください。

本機は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

AC アダプターを温度の影響を受けやすい木製品や家具などの上に置かないでください。

本機を使用中、AC アダプターの温度が高くなる場合があり（故障ではありません）、置いた部分が変色・変形することがあります。

本機を寒い場所から暖かい場所に移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露(つゆつき)が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

故障の原因となります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。)

ステッカーやテープなどを貼らないでください。

変色や傷の原因になります。

アンテナケーブルを必要以上に長くしたり、束ねたりしないでください。

映像が不安定になる場合があります。

BS・110度CSデジタル放送用のアンテナケーブルは、必ず専用のものを使用してください。

アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に潮風にさらされるところやばい煙の多いところでは、傷み易くなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

B-CASカードは必要なときだけ抜き差ししてください。

必要以上に抜き差しすると故障の原因となることがあります。

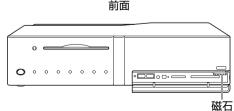
B-CASカードを折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、金属部分に触れたりしないでください。

B-CASカードにはIC(集積回路)が内蔵されており、故障や破損の原因となります。

本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報を消去(初期化)してください。

詳しくは、パソコン機能編の「万一に備えて」-「パソコンの廃棄・譲渡時にデータを消去する」を参照してください。

磁気に弱いカード類などは、本体の前面に近づけないでください。

パソコンの前面には磁石が埋め込まれています。磁石の周囲に、外付けハードディスク、フロッピーディスクや磁気に弱いテープ、カード類(テレフォンカードや定期券、ビデオテープ、メモリカードなど)を近づけないように注意してください。カード類などに記録されているデータが消えることがあります。

持ち運ぶときのご注意

パソコンを持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **電源を切る**
- **強い振動や衝撃を与えない**
- **CD などのディスクおよびメモリーカードなどのカード類をパソコンから取り出す**
- **パソコンに接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。
また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露(水滴)が完全に乾いてから、ご使用ください。

ワイヤレスキーボードに関するご注意

電波法に基づく適合証明について

このパソコンは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。
ただし、下記のことは行わないでください。法律により罰せられることがあります。

- ワイヤレスキーボードを分解、改造する
- ワイヤレスキーボードに貼ってある証明ラベルをはがす

使用上のご注意

- ワイヤレスキーボードは、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

電波干渉に関するご注意

2.4 XX 2

この表示のある無線機器は2.4GHzを使用しています。変調方式としてGFSK変調方式を採用し、与干渉距離は 20m です。

このパソコンの使用する 2. 4GHz の周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、「お客様サポートセンター」へお問い合わせください。
   (「お客様サポートセンター」については、サポートのご案内 をご覧ください。)

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

著作権等に関するご注意

- このパソコンを利用して各種CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
  また、このパソコンにおいて写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
- このパソコンは、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

コピーコントロールCDに関するご注意

このパソコンは、CD規格(コンパクトディスクデジタルオーディオ)に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCDの再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細については、ディスクの発売元へお問い合わせ願います。

OSのサポートに関するご注意

本機では、プリインストールされているOS(日本語版)のみをサポートしています。

Supported Operating System

The model only supports the pre-installed Japanese language operating system; other operating systems are not supported.

パソコンのリサイクルご協力お願い

ご家庭の使用済パソコンを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。

PC リサイクルマーク（本機背面に貼付）が表示されているシャープ製品は、新たな料金のご負担なしで弊社が収集･運搬･再資源化いたします。ご使用済みパソコンを廃棄される場合は、（サポートのご案内）を参照してください。

PCリサイクルマーク

パソコン側の電子番組表について

本機能は、「Rec Station」や放送事業者が提供するサービスを利用しています。サービス内容、および仕様につきましては、予告なく変更・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

デジタル放送の録画について

PC-AX100M でのデジタル放送の録画には高度な暗号化技術を使用しています。このため、故障の際の修理内容によっては、ハードディスク内に記録されているデジタル放送の録画データが再生できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。

ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

キーボード、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、AC アダプター、コネクター／ケーブル類、リモコン

※部品によっては、ユニット単位の交換になる場合があります。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

・データを「ゴミ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化（フォーマット）する
・再インストールして、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、市販のデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要となります。このパソコンにはハードディスクの全データを消去する機能が備わっています。この機能を使うとデータが復元されにくくなります。ただし、特殊な機器の使用によりデータを復元される可能性があります。より確実に消去するには、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的･磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

本件に関して詳細はインターネット AQUOS のホームページ

http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

をご覧になられるか、あるいは下記の窓口にお問い合わせくださるようお願い申し上げます。

●お客様サポートセンター
（サポートのご案内 を参照してください）
●パソコンを購入された販売店

また、本機の廃棄方法については、サポートのご案内 を参照してください。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータをご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ(以下「本製品」と記載します)にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権
　(1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
　(2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
　(3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM 等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。

2. 権利の許諾
　(1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
　(2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項
　(1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
　(2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
　(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
　(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。

4. 本ソフトウェアの譲渡
　お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。
　i) お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。
　ii) 譲受人が本契約に同意していること。

5. 限定保証

（1） 弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2） 上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後 1 年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3） 本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から 14 日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6. 責任の制限

（1） 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2） いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7. 契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記 8. により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8. 契約の終了

（1） お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2） 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3） 上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4） お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9. その他

（1） お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2） 本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報通信事業本部
〒 639-1186
奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

商標、登録商標

・ Microsoft、Windows、Windows Media、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・ Drag'n Drop は、イージーシステムズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・ TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
・ 安心楽々は、イージーシステムズ株式会社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この製品は、クラス 1 レーザー機器を使用しています。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

ご使用になる前によくお読みください

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ず書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- データ放送(BS デジタル／ 110 度 CS デジタル／地上デジタル)の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

- この製品にインストールまたは付属のソフトウェアのご使用条件もあわせてお読みください。
- 巻頭の「安全にお使いいただくために」には、この製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。内容をよくお読みになった上で、この製品をお使いください。

この製品をご使用になった場合は、これらの使用条件をご承認いただいたものとみなします。
ご承認いただけない場合は、ご使用になる前に購入先に返品をお申し入れください。

もくじ

はじめに

設置・接続

テレビの設定

パソコンの設定

付録

はじめに

本機の特長

チャンネル UI で テレビとインターネットをもっと楽しむ

リモコンのチャンネルボタン（1 ～ 12）を押すだけで、色々なことを手軽に楽しむ、それがチャンネル UI（チャンネル User Interface）です。
チャンネル UI を搭載した本機は、テレビ番組のチャンネルを選ぶような感覚で、インターネット／ブロードバンド放送／ホームネットワーク上のデジタルコンテンツ（映像･画像･音楽）の利用が可能です。

好みの番組を自動録画してくれる

アナログ放送のみ

キーワードを入力すると、条件にヒットする番組を自動録画できます。
また、おすすめ番組録画機能を使えば、これまでの録画予約履歴を元に、本機がおすすめ番組を自動的に録画します。

インターネット

ハイビジョン画質でそのまま録画可能

PC-AX100M のみ

地上デジタルやBS·110度CSデジタルのハイビジョン放送を、ハイビジョン画質のままハードディスクに録画できます。
録画したデジタル放送の番組は、DVD-RAM ディスクに移動できます。

2 つの番組を同時に録画できる

PC-AX100M のみ

地上デジタル放送や BS · 110 度 CS デジタル放送の番組を録画しながら、地上アナログ放送の番組を録画できます。（一方は録画予約で録画）
録りたい番組が同時刻に重なっても、これからは 2 番組同時に録画することができます。

便利なワイヤレスキーボードを採用

ワイヤレスキーボード（無線）を採用しているので、離れた位置からでも自由な角度・スタイルで操作できます。
また、トラックボールを装備しているので、マウス操作も可能です。

この説明書の読み方

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

!	本機や周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
パソコン機能編	別冊の説明書を示しています。（左は「取扱説明書 パソコン機能編」の例です。）
LD-32SP1	当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」の取扱説明書を示しています。
LD-37SP1	当社製液晶カラーテレビ「LD-37SP1」の取扱説明書を示しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

モデル名（形名）のマークについて

本書はシリーズ共通の説明書です。モデルによって搭載する機能が異なる場合は、次のマークで区分しています。

PC-AX100M のみ　PC-AX100M にのみ搭載している機能です。

「テレビ」の表記について

本書では、下記について「テレビ」と表記しています。
・当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」

テレビの説明について

本書では、本機が「LD-32SP1」または「LD-37SP1」と接続されることを前提として、説明を行っています。

パソコンのイラストについて

このパソコンは縦置き／横置きの両方が可能ですが、本書では主に横置きのイラストを掲載しています。

テレビのイラストについて

「LD-32SP1」を例に説明していますが、「LD-37SP1」も端子の位置はほぼ同じです。

リモコンのボタンについて

リモコンのボタンは図示しています。
押すボタンを［　］で囲んで表記している場合もあります。

例）［PC 電源］を押します。

記載の画面について

この説明書に記載の画面は実際の画面と異なる場合があります。
また、操作状況やパソコンの状態によって表示が異なる項目などは「XXXXXX」で表しています。

例）
画面下部にリモコンでの操作方法が表示される画面があります。
対応するリモコンのボタンを押すと、表示されている機能が働きます。

例）リモコンの を押すと、選択されている項目が移動します。

※ この説明書に記載の画面は、上記のリモコン操作の表示部分を省略しています。

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や画面、アイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）・「コントロールパネル」をクリックします。

・「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲み、小文字で表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

例）**c:￥mnmanual￥sample.bmp** と入力します。

箱の中身を確認する

付属品がそろっているか確認して、チェックマークを付けましょう。足りないものや破損しているものがあるときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

□電源コード
約 2m

（☞ 77 ページ）

□AC アダプター
約 1.8m

（☞ 77 ページ）

□キーボード

（☞ 35 ページ）

□リモコン

（☞ 31 ページ）

□リモコン・キーボード用
単 3 形乾電池× 4
（リモコン用× 2）
（キーボード用× 2）

（☞ 38、40 ページ）

□アンテナケーブル
約 2m
（PC-AX100M × 3）
（PC-AX50M × 2）

（☞ 56 ページ）

□電話線
（PC-AX100M のみ）
約 10m

（☞ 70 ページ）

□PC 映像ケーブル
約 1.8m

（☞ 55 ページ）

□PC 音声ケーブル
約 1.8m

（☞ 55 ページ）

□RS-232C ケーブル
約 1.8m

（☞ 55 ページ）

□ケーブルクランプ

（☞ 78 ページ）

□カバー

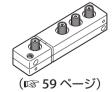
本体を横置きするときに使います。

（☞ 47 ページ）

□アンテナ 2 分配器
（マスプロ電工社製）
（PC-AX50M のみ）

（☞ 57 ページ）

□アンテナ 3 分配器
（マスプロ電工社製）
（PC-AX100M のみ）

（☞ 59 ページ）

□B-CAS カード
（PC-AX100M のみ）

（☞ 84 ページ）

B-CAS カードを開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

□保証書

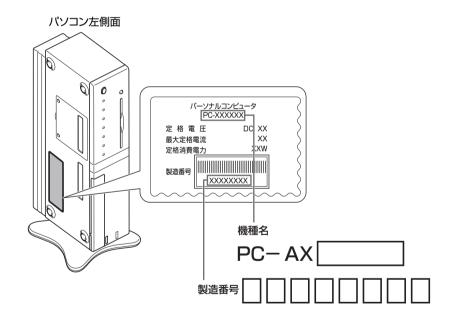
外箱に貼り付けられています。
※ 本保証書は非常に重要なものです。
大切に保管してください。

説明書など

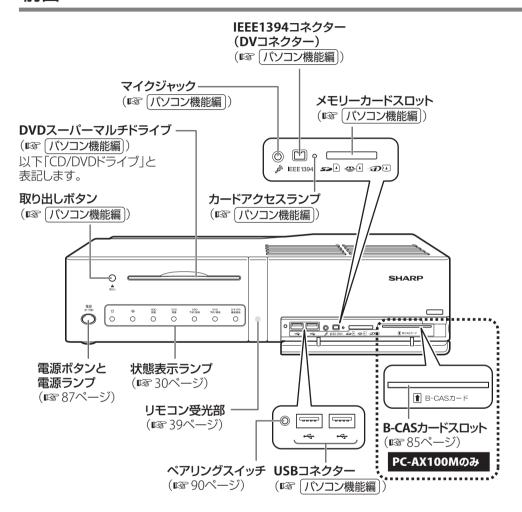
- □ 接続・設定ガイド
- □ マニュアルガイド
- □ かんたん !! ガイド
- □ 取扱説明書　接続と準備編（本書）
- □ 取扱説明書　レコーダー機能編
- □ 取扱説明書　パソコン機能編
- □ サポートのご案内
- □ ウイルスバスターのご案内
- □ ご愛用者カード
- □ ジョルダンソフトウェアユーザー登録カード
- □ 電波干渉に関するご注意シール

この他に補足説明書などが入っている場合があります。

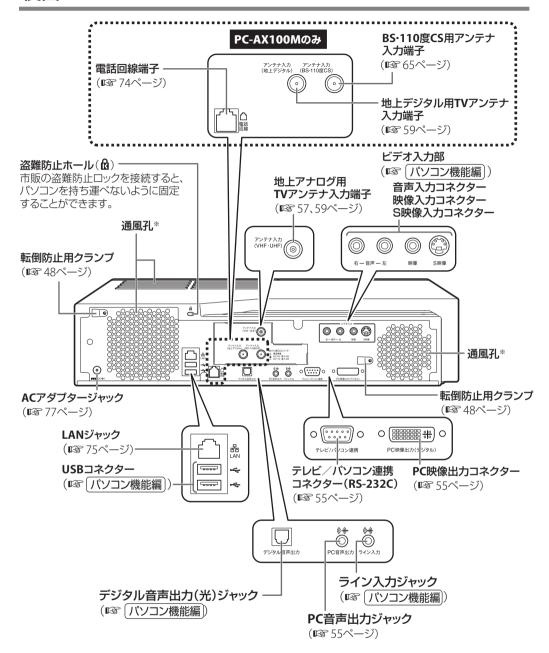
機種名と製造番号を控えましょう

パソコンの左側面（横置き時は底面）に貼られたシールに、機種名と製造番号が印刷されています。
シャープのユーザー登録をするときに、機種名と製造番号が必要になりますので、下欄に控えておいてください。
機種名と製造番号は、外箱に貼り付けられている保証書にも記載されています。

各部の名称

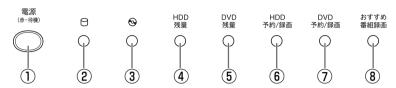
パソコン

前面

イラストについて

このパソコンは縦置き/横置きの両方が可能ですが、本書では主に横置きのイラストを掲載しています。

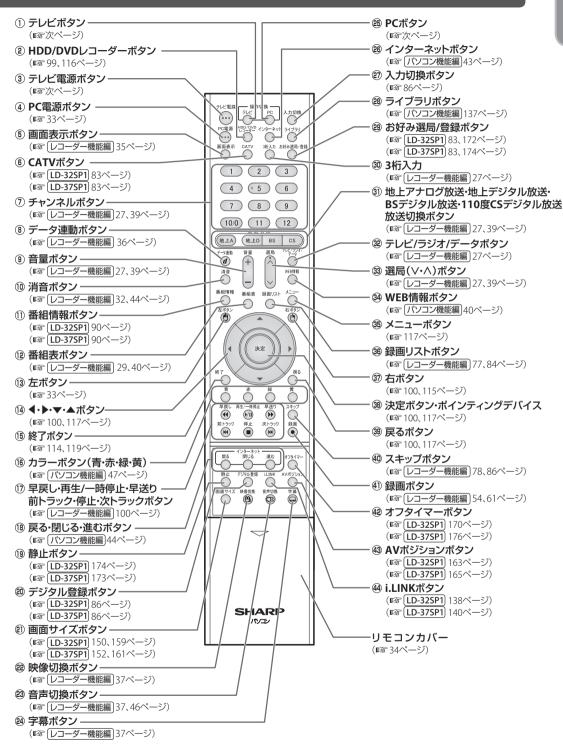
後面

※通風孔は機器内部の熱を放出するためのものですのでふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

状態表示ランプ

ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブが動作しているとき・おすすめ番組録画機能で録画をしているとき・HDD/DVD 録画予約をしているときに点灯します。

① 電源ランプ	緑点灯	電源が入っている。
	赤点灯	スタンバイ（待機）状態。
	赤点滅	PC 映像ケーブルが正しく接続されていない。
	消灯	休止状態または電源が切れている。
② ハードディスクランプ	点灯	ハードディスクにアクセス（読み書き）している。
	消灯	ハードディスクにアクセス（読み書き）していない。
③ CD/DVD ランプ	点灯	CD/DVD にアクセス（読み書き）している。
	消灯	CD/DVD にアクセス（読み書き）していない。
④ HDD 残量ランプ	緑点灯	ハードディスク（PC-AX100M は D ドライブと E ドライブの容量合計 /PC-AX50M は D ドライブの容量）の空き容量が 30%以上。
	オレンジ点灯	ハードディスク（PC-AX100M は D ドライブと E ドライブの容量合計 /PC-AX50M は D ドライブの容量）の空き容量が 10 ～ 30%。
	赤点灯	ハードディスク（PC-AX100M は D ドライブと E ドライブの容量合計 /PC-AX50M は D ドライブの容量）の空き容量が 10%以下。
	※スタンバイ（待機）状態のときは点灯しません。	
⑤ DVD 残量ランプ	StationTV G2 が起動しているときに、CD/DVD ドライブにセットされている書込み可能な DVD ディスクの空き容量を表示します。	
	緑点灯	DVD ディスクの空き容量が 30%以上。
	オレンジ点灯	DVD ディスクの空き容量が 10 ～ 30%。
	赤点灯	DVD ディスクの空き容量が 10%以下。
	※スタンバイ（待機）状態のときは点灯しません。	
⑥ HDD 予約／録画ランプ	オレンジ点灯	ハードディスクへの録画予約がされている。
	赤点灯	ハードディスクへの録画中。
⑦ DVD 予約／録画ランプ	オレンジ点灯	DVD ディスクへの録画予約がされている。
	赤点灯	DVD ディスクへの録画中。
⑧ おすすめ番組録画ランプ	赤点灯	おすすめ番組録画機能による録画中。

ご注意

- ランプが点灯中は、次のことはしないでください。データが失われたり、故障の原因になります。
  - 電源を切る
  - パソコンを動かす
- 「制限付きアカウント」でログオンしたときは、上記④～⑧のランプは機能しません。

リモコン

ご参考

- このリモコンは当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」の基本的な操作もできます。
- このリモコンでは、ドラッグ操作はできません。

テレビを操作する専用のボタン

テレビの操作をするボタンです。リモコンをテレビの受光部（☞39ページ）に向けて操作してください。

番号	ボタン	働き
③	テレビ電源	テレビの電源を入／切（電源待機）します。
⑥	CATV	ケーブルテレビのチャンネル番号を入力します。
⑨	音量	音量を調節します。
⑩	消音	一時的に音を消します。
⑲	静止	視聴中の番組を静止画で表示します。
⑳	デジタル登録	チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルの確認／登録画面を表示します。
㉑	画面サイズ	画面サイズを選びます。
㉗	入力切換	テレビの入力を切り換えます。押すたびに入力が切り換わります。
㉙	お好み選局/登録	お好み登録したチャンネルの選局と、登録されているチャンネルの確認をします。
㊷	オフタイマー	テレビの電源を指定した時間後に切ります。
㊸	AVポジション	部屋の明るさに合わせて、お好みの映像を選べます。
㊹	i.LINK	D-VHS ビデオ等を操作する i.LINK 操作パネルを表示します。

テレビとパソコンを両方操作できる共用のボタン

本機のリモコンには、テレビを操作するテレビモードと、パソコンを操作するパソコンモードがあります。

テレビモード............. テレビ を押してから、各ボタンを押すとテレビが操作できます。
パソコンモード........ PC を押してから、各ボタンを押すとパソコンが操作できます。

テレビモード

リモコンの テレビ を押してから

テレビの受光部に向けてボタンを押すと

テレビの操作ができます

パソコンモード

リモコンの PC を押してから

パソコンの受光部に向けてボタンを押すと

パソコンの操作ができます

パソコンを操作する専用のボタン

パソコンの操作をするボタンです。リモコンをパソコンの受光部(☞39ページ)に向けて操作してください。

番号	ボタン	働き
②	HDD/DVD レコーダー	「HDD/DVD レコーダー」メニューを表示します。
④	PC電源	パソコンの電源を入／切（スタンバイ）します。
⑬	左ボタン	項目を決定します。（左クリックと同じです）
⑰	早戻し 再生/一時停止 早送り 前トラック 停止 次トラック	DVD、録画番組の再生中の操作を行います。
⑱	戻る 閉じる 進む	WEB ページを操作します。
㉖	インターネット	「インターネット」メニューを表示します。
㉘	ライブラリ	「ライブラリ」メニューを表示します。
㉞	WEB情報	視聴番組の関連 WEB 情報を表示します。押すたびにテレビの画面とパソコンの画面が切り換わります。
㊱	録画リスト	録画した番組のリストを表示します。
㊲	右ボタン	メニューを表示します。（右クリックと同じです）
㊵	スキップ	DVD、録画番組の再生中、一定時間再生をスキップします。
㊶	録画	番組を録画します。

番号	ボタン	働き
⑤	画面表示	現在の状態を表す各種情報の表示を入／切します。
⑦	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12	視聴している放送チャンネルを番号で選局します。 各種設定の数字入力にも利用します。
⑧	データ連動 d	デジタル放送の番組に連動したデータ放送を表示します。
⑪	番組情報	視聴しているデジタル番組の番組情報を表示します。
⑫	番組表	電子番組表（EPG）の表示を入／切します。
⑭		メニューや項目を選択します。
⑮	終了	テレビ　：静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。 パソコン：操作中のアプリケーションを終了します。
⑯	青 赤 緑 黄	テレビ　：デジタル番組の電子番組表やデータ番組を操作します。 パソコン：アプリケーションごとに割り当てられた機能を実行します。
㉒	映像切換	デジタル放送の主・副映像や、DVD プレーヤーのマルチアングルを選びます。
㉓	音声切換	音声を切り換えます。
㉔	字幕	デジタル放送の字幕表示を入／切します。
㉚	3桁入力	デジタル放送の 3 桁のチャンネル番号を入力します。
㉛	地上A 地上D BS CS	視聴する放送の種類を選びます。
㉜	テレビ/ラジオ/データ	放送のメディアを選びます。
㉝	選局	視聴している放送チャンネルを順／逆で選局します。
㉟	メニュー	メニュー画面の表示を入／切します。
㊳	決定	項目を決定します。パソコンの画面でこのボタンを傾けると、傾けた方向に矢印（マウスポインター）が移動します。
㊴	戻る	メニューで 1 つ前の画面に戻ります。

テレビモードに切り換わるボタン

下記のボタンを押すと、リモコンがパソコンモードの場合でも、リモコンがテレビモードに自動的に切り換わります。

パソコンモードに切り換わるボタン

下記のボタンを押すと、リモコンがテレビモードの場合でも、リモコンがパソコンモードに自動的に切り換わります。また、テレビの画面が映っている場合でも、自動的にパソコンの画面に切り換わります。※

HDD/DVD レコーダー　インターネット　ライブラリ　録画リスト

テレビの画面をパソコンの画面に切り換えるボタン

リモコンがパソコンモードになっているとき、下記のボタンを押すと、テレビの画面が映っている場合でも、自動的にパソコンの画面に切り換わります。※

HDD/DVD レコーダー　インターネット　ライブラリ　番組表　録画リスト　地上A　地上D　BS　CS　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12　選局

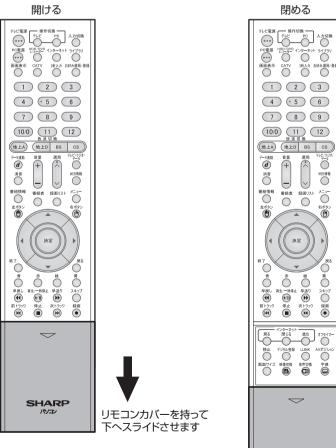
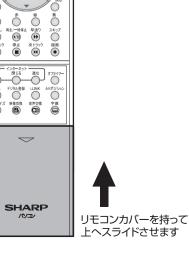
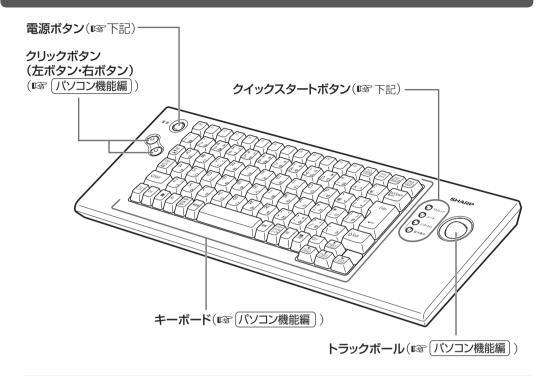
※「LD-32SP1」または「LD-37SP1」と本機を RS-232C ケーブル（付属）で接続している場合

リモコンカバーの開け方／閉め方

開ける

リモコンカバーを持って下へスライドさせます

閉める

リモコンカバーを持って上へスライドさせます

キーボード

電源ボタンについて

パソコンの電源を入／切（スタンバイ）します。スタンバイ状態にするときは、約 1 秒間押し続けてください。

クイックスタートボタンについて

クイックスタートボタンを使うと、手元のキーボードで、画面の表示を切り換えたり、アプリケーションソフトを起動したりできます。

○ デスクトップ ― ①
○ メール ―― ②
○ インターネット ― ③
○ 拡大表示 ― ④

① デスクトップボタン
押すと、開いている画面を一時的に消して、Windows のデスクトップ画面を表示します。
もう一度押すと、元の画面に戻ります。

② メールボタン
押すと、メールソフトが起動します。

③ インターネットボタン
· **WEB ブラウザが起動していないとき：**
WEB ブラウザソフトが起動し、ホームとして登録されているホームページ（ご購入時状態ではインターネットアクオスのホームページ）が表示されます。
· **WEB ブラウザが起動しているとき：**
ホームとして登録されているホームページ（ご購入時状態ではインターネットアクオスのホームページ）が表示されます。

④ 拡大表示ボタン
押すと、WEB ブラウザソフトの画面が拡大表示されます。

設置・接続

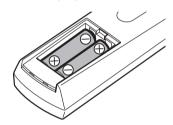
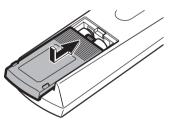
リモコンの準備

乾電池を入れる

付属の単 3 形乾電池 2 本を用意してください。

1 **リモコン裏側のカバーを外します。**

2 **付属の乾電池を入れます。**

プラス（+）とマイナス（−）の向きをよく確認して入れてください。

3 **ツメとミゾの位置を確認し、カバーを取り付けます。**

乾電池の交換時期について

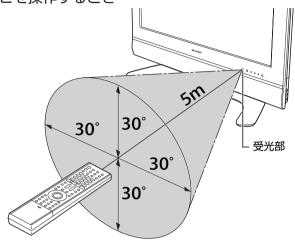
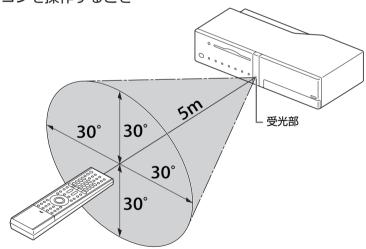
乾電池の寿命は約 6 カ月です。
受光部に近づけても動作しにくいときは、乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池に交換してください。

ご参考

- 付属の乾電池は、保存状態により短期間で消耗することがあります。
- 使用状況によっては、乾電池の消耗が早くなることがあります。
- 交換するときは、2 本とも新しいアルカリ乾電池（市販）に交換してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、テレビまたはパソコンの受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は、受光部から約 5m、上下左右に約 30 度以内です。

・テレビを操作するとき

・パソコンを操作するとき

リモコンとテレビ／パソコンの受光部の間に障害物があると、動作しない場合があります。障害物を取り除いてください。

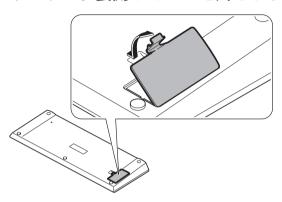
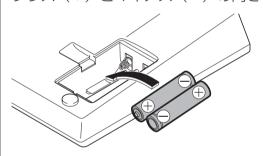
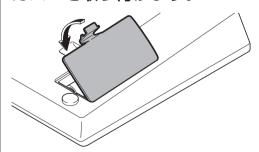
ご参考

- テレビまたはパソコンの受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていると、リモコンでの操作がしにくくなります。テレビまたはパソコンの向きを変えるか、受光部にリモコンを近づけてください。
- テレビに付属のリモコンで、パソコンを操作することはできません。

キーボードの準備

乾電池を入れる

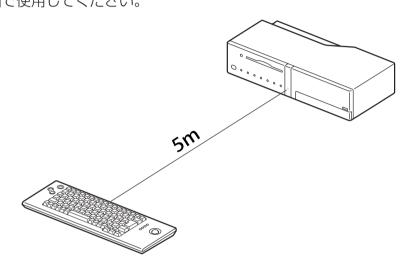
キーボードを使う前に、付属の単 3 形乾電池 2 本を用意してください。

1 **キーボード裏側のカバーを外します。**

2 **付属の乾電池を入れます。**
プラス（+）とマイナス（−）の向きを確認して入れてください。

3 **カバーを取り付けます。**

乾電池の交換時期について

乾電池の寿命は約 6 カ月です。
パソコンに近づけても動作しにくいときは、乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池に交換してください。

- 付属の乾電池は、保存状態により短期間で消耗することがあります。
- 使用状況によっては、乾電池の消耗が早くなることがあります。
- 交換するときは、2 本とも新しいアルカリ乾電池（市販）に交換してください。

キーボードで操作できる範囲

このキーボードはワイヤレスキーボードです。
キーボードをパソコンに向ける必要はありませんが、パソコンから 5m 以内の範囲で使用してください。

ご参考

- キーボードの操作が不要なときに、トラックボールを動かしたり、キーを押し続けたりしないでください。パソコンの操作に関係なくても乾電池を消費します。
- 一定時間トラックボールやキーボードの操作がなければ、省電力機能が働きます。省電力状態のときにトラックボールを操作すると、動き出しに少し時間がかかります。
- キーボードが動作しないときは、ペアリング調整をしてください。（☞ 90 ページ）

設置・接続・設定の流れ

次のような流れで、接続と設定を進めていきます。

設置・接続

テレビとパソコンを接続する
（☞55ページ）

▼

アンテナケーブルを接続する
（☞56、62ページ）

▼

電話線とLANケーブルを接続する
（☞70、75ページ）

▼

テレビを電源に接続する
（☞76ページ）

▼

パソコンを電源に接続する
（☞77ページ）

▼

テレビの設定

テレビの電源を入れる
（☞80ページ）

▼

テレビのチャンネル設定をする
（☞81ページ）

この設定はテレビに付属の【かんたん!!ガイド】と【取扱説明書】を使って行います。

●ここまで進むと...
テレビが見られる状態になります。

▼

パソコンの設定

パソコンにB-CASカードを差し込む
PC-AX100Mのみ
（☞84ページ）

▼

パソコンの電源を入れる
（☞87ページ）

▼

Windowsのセットアップをする
（☞88ページ）

●ここまで進むと...
パソコンが使える状態になります。

▼

パソコンのチャンネル設定をする
（☞99ページ）

●ここまで進むと...
テレビを録画できる状態になります。

- PC-AX50M/AX100Mと接続できるテレビは、当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」です。他のテレビまたはモニターを接続する場合は、お使いの機器に付属の説明書をご覧ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

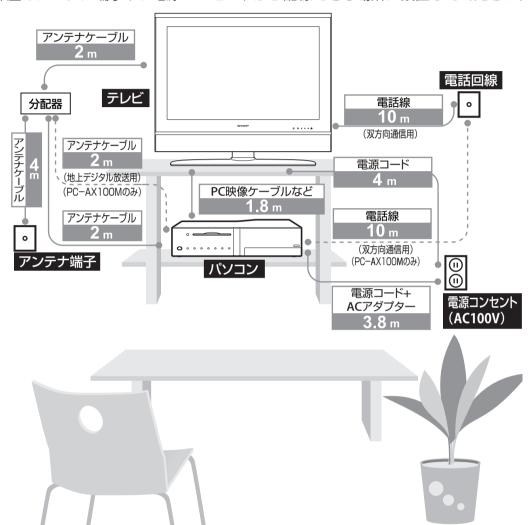
デジタル放送が開始されていないエリアでは

デジタル放送が開始されていないエリアでは、デジタル放送用の設定を行ってもデジタル放送を視聴できません。

市販品について

設置・接続の仕方によっては、市販品が必要になる場合があります。49 ページ以降の説明をご覧になり、必要な市販品をお買い求めください。

設置のしかた

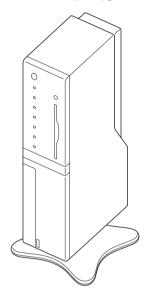
下の図は、テレビ、パソコンの設置の一例です。
図中の■内の数字は、テレビとパソコンに付属している主なケーブルの長さを表しています。(数字は目安です)
部屋のアンテナ端子や、電源コンセントから配線できる場所に設置してください。

ご注意

- 設置する際は、テレビおよびパソコンの通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。また、パソコン本体の天面、側面はそれぞれ 5cm 以上、後面は 10cm 以上空けて設置してください。

パソコンを縦置き／横置きする

縦置きする場合

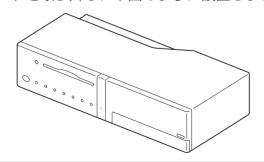
下図のように設置します。

（縦置きスタンドはあらかじめ取り付けられています）

ご注意

傾斜のない、平らな場所に設置してください

- すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所には設置しないでください。
- 縦に置いた状態で使用するときは、必ず専用のスタンドを取り付けて使用してください。また、お子様やペットが不用意に触って転倒することが考えられる場所には設置しないでください。

横置きする場合

縦置きスタンドを取り外し、下図のように設置します。

ご注意

- パソコン本体をテレビ台や AV ラック等に収納するときは、前面が開いているタイプのもの（前面に扉が付いていないもの）をお使いください。また、パソコン本体の天面、側面はそれぞれ 5cm 以上、後面は 10cm 以上空けて収納してください。

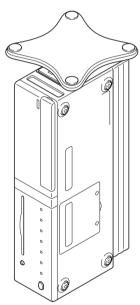
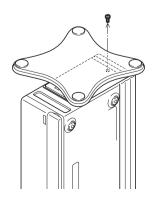
縦置きスタンドの取り外し／取り付け

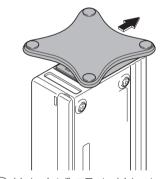
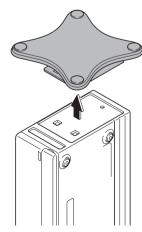
横置きするときは、縦置きスタンドを取り外してください。また、横置きから縦置きに変更するときは、縦置きスタンドを取り付けてください。

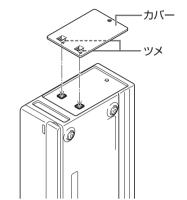
ご注意

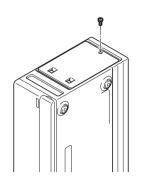
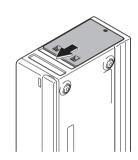
- 縦置きスタンドを取り外すとき／取り付けるときは、本機の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを取り外してください。

縦置きスタンドの取り外し

1 パソコンを下図の向きで置きます。

2 縦置きスタンドを固定しているネジを取り外します。

3 縦置きスタンドを取り外します。

①縦置きスタンドを矢印の向きにスライドさせます。

②持ち上げて取り外します。

4 付属のカバーを取り付けます。

①カバーのツメを、パソコンの差し込み口に差し込みます。

②矢印の向きにスライドさせます。

5 手順 2 で取り外したネジを取り付けます。

ご注意

- 取り外した縦置きスタンドは、なくさないように保管しておいてください。縦置きするときに使用します。

縦置きスタンドの取り付け

縦置きスタンドの取り付けは、「**縦置きスタンドの取り外し**」（☞前ページ）の手順を参考に、カバーを取り外して、縦置きスタンドを取り付けてください。

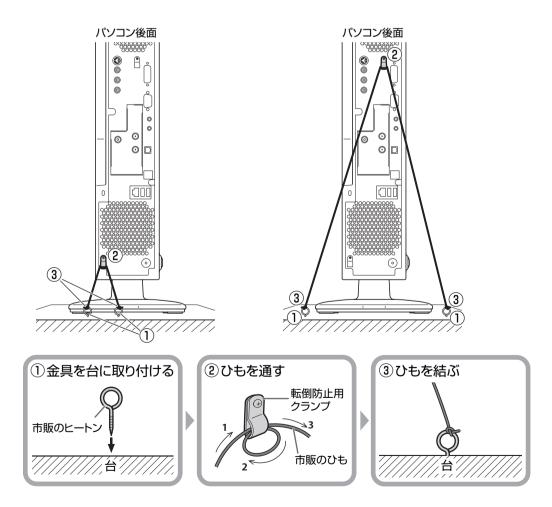
転倒防止について

本機を縦置きにした場合、不意の地震のときや衝撃などで、本機が倒れてけがをする恐れがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いします。

①市販の金具（ヒートン）2 個を台に取り付けます。
※ひもを固定する金具は、ひもが外れない形状のヒートンをご使用ください。
②市販の丈夫なひもを本機の転倒防止用クランプに通して一周させます。
③ひもの両端を 2 個の金具に結び、本機を固定します。
※ひもは、たるまないようにしっかりと結んでください。

下部で固定する場合

上部で固定する場合

下部で固定する方法に比べ、さらに安定性が増します。

接続のしかた

接続方法の説明について

お客様の購入された機種によって接続方法が異なります。本書では以下のマークによって説明を分けています。お客様の機種をご確認の上、該当する接続を行ってください。

PC-AX50M の場合　：**PC-AX50M**

PC-AX100M の場合　：**PC-AX100M**

接続できるテレビは、当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」です。本書では「LD-32SP1」との接続のしかたを例に説明しています。（「LD-37SP1」も接続方法は同じです。）

市販モニターとの接続方法については、お使いのモニターに付属の説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するすべての機器の**電源を切った状態**で接続してください。
- ケーブル、コード類は、無理に曲げたり、力が加わらないようにしてください。断線など、故障の原因になります。
- PC-AX50M/AX100M の推奨モニターは当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」です。「LD-32SP1」、「LD-37SP1」以外の市販モニターを接続する場合、デジタル放送の映像や WEB 情報が表示されないなど、一部機能がご使用いただけません。
詳しくは レコーダー機能編 の「**デジタル放送の録画・再生時の制限事項について**」を参照してください。

ご参考

- インターネットに接続するには、ブロードバンド接続回線（ADSL、CATV、FTTH などの高速な通信回線）が必要です。プロバイダーとの契約、回線工事、対応する各モデムの用意など、あらかじめインターネットに接続できる環境を準備しておいてください。
- PC-AX100M に内蔵されているモデムは、デジタル放送視聴の際に、双方向番組への参加や有料放送の受信情報管理に使用します。

全体接続図

PC-AX50M

PC-AX50M をお使いの場合、下図を参考に各機器を接続します。
各機器の接続について詳しくは、各参照ページをご覧ください。

部屋のアンテナ端子がBS・110度CSとVHF/UHFが混合されて、部屋のアンテナ端子が1つだけの場合
（マンションなど共聴システムの場合）
BS・110度CS
共用アンテナ
U/V混合
アンテナ
部屋のアンテナ端子
パソコンに付属のアンテナ分配器へ
テレビのBS・110度CS用アンテナ入力端子へ
BS/UV分波器（市販品）
金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。
混合器
録画機器
（☞ LD-32SP1 ）
（☞ LD-37SP1 ）
VHF/UHF用
アンテナケーブル（19cmまたは24cm）
（☞57ページ）
電話線（10m）
（☞73ページ）
電話回線
モジュラー分配器
（2分配）
（☞73ページ）
電話線
分配器
テレビ背面
電話機
インターネット
ブロードバンド
ルーター／モデム
PC映像
ケーブル
（1.8m）
（☞55ページ）
RS-232Cケーブル
（1.8m）
（☞55ページ）
PC音声
ケーブル
（1.8m）
（☞55ページ）
LANケーブル
（☞75ページ）
パソコン後面
電源コード+ACアダプター（3.8m）
（☞77ページ）

PC-AX100M

PC-AX100M をお使いの場合、下図を参考に各機器を接続します。
各機器の接続について詳しくは、各参照ページをご覧ください。

VHFアンテナ
UHFアンテナ
BS･110度CS共用アンテナ

部屋のアンテナ端子

部屋のアンテナ端子がVHF/UHF混合の端子でない場合、別途市販品が必要になります。
（☞59ページ）

BS･110度CS用アンテナケーブル（4m）
（☞65ページ）

BS･110度CS用アンテナ分配器
（☞65ページ）

アンテナ3分配器
（☞59ページ）

分配器

分配器

VHF/UHF用アンテナケーブル（4m）
（☞59ページ）

BS･110度CS用アンテナケーブル
（☞65ページ）

アンテナケーブル（2m）
（☞59ページ）

録画機器
（☞60ページ）

アンテナケーブル（2m）
（☞59ページ）

電源コード（4m）
（☞76ページ）

アンテナケーブル（2m）
（☞59ページ）

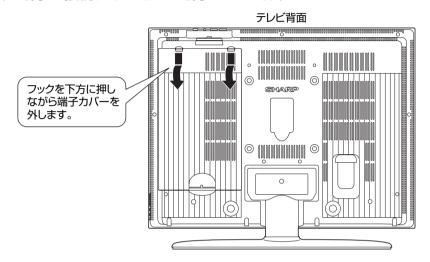
電源

部屋のアンテナ端子がBS・110度CSとVHF/UHFが混合されて、部屋のアンテナ端子が1つだけの場合
（マンションなど共聴システムの場合）
BS・110度CS共用アンテナ
U/V混合アンテナ
部屋のアンテナ端子
パソコンに付属のアンテナ分配器へ
市販のBS・110度CS用の分配器へ
BS/UV分波器（市販品）
金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。
混合器
録画機器
（☞LD-32SP1）
（☞LD-37SP1）
VHF/UHF用アンテナケーブル（19cmまたは24cm）
（☞59ページ）
電話線（10m）
（☞74ページ）
電話回線
モジュラー分配器（3分配）
（☞74ページ）
テレビ背面
電話線分配器
電話機
電話線（10m）
（☞74ページ）
インターネット
ブロードバンドルーター／モデム
PC映像ケーブル（1.8m）
（☞55ページ）
RS-232Cケーブル（1.8m）
（☞55ページ）
PC音声ケーブル（1.8m）
（☞55ページ）
LANケーブル
（☞75ページ）
パソコン後面
電源コード+ACアダプター（3.8m）
（☞77ページ）

テレビの端子カバーを外す

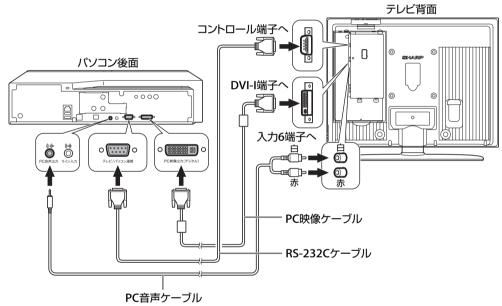
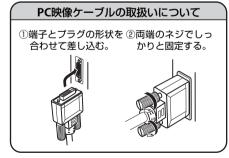
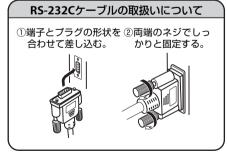
PC-AX50M

PC-AX100M

背面の端子に接続するときは、端子カバーを外してください。

テレビとパソコンを接続する

PC-AX50M

PC-AX100M

3 本のケーブル（ともに付属）でテレビとパソコンを接続します。
RS-232C ケーブルを接続することで、パソコンとテレビの連携機能を使ったり、パソコンでデジタル放送を表示する際に画質を自動調整することができます。

ご注意

- RS-232C ケーブルを接続しないと、WEB 情報など一部機能を利用できず、デジタル放送の画質調整（自動）が行われません。

設置・接続

地上デジタル放送／地上アナログ放送のアンテナケーブルを接続する

アンテナケーブル（付属）などを使って、部屋のアンテナ端子、テレビ、パソコンを接続します。部屋のアンテナ端子の形状によっては、市販品が必要になる場合があります。

ご注意

- 機器の電源を切った状態で接続してください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ご参考

- VHF/UHF の屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買いあげの販売店にご相談ください。
- CATV にご加入の場合は、アンテナ端子に接続する代わりに、ホームターミナルなどへの接続が必要になる場合があります。詳しくは、CATV サービス会社から送られてくる説明書を参照してください。
- 地上デジタル放送の受信には、UHF 対応のアンテナが必要です。VHF アンテナでは受信できません。現在 UHF 対応のアンテナをお使いの場合でも、アンテナやケーブル、分配器、ブースターなどの調整や交換・追加が必要になる場合があります。

地上デジタル放送を CATV で受信する場合は

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF 帯）です。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。
- VHF/UHF アンテナと同じ手順でアンテナケーブルを接続します。CATV による地上デジタル放送の視聴方法については、お客様が契約されている CATV サービス会社にお問い合わせください。

パススルー方式とは

- CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。
- この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

PC-AX50M

PC-AX50M をお使いの場合、下図を参考に各機器を接続します。

ご参考

- アンテナ入力（VHF・UHF）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：　）をお使いください。

設置・接続

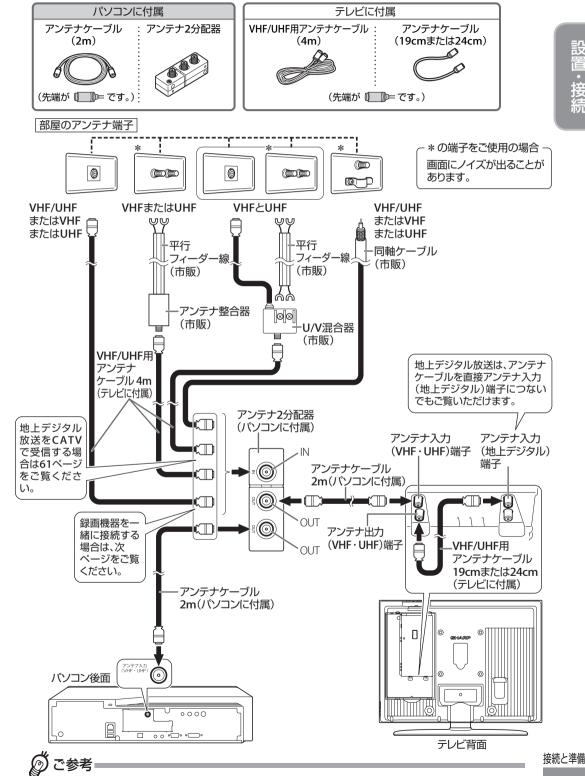
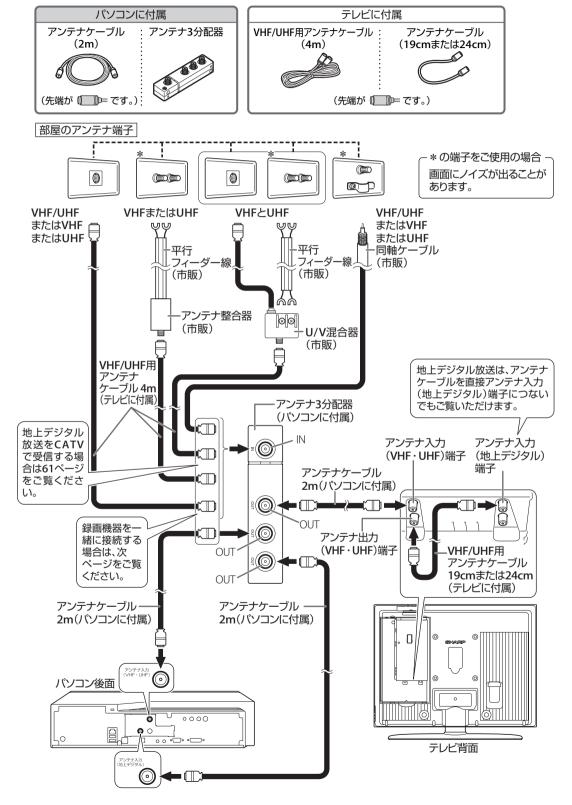
録画機器を一緒に接続する場合

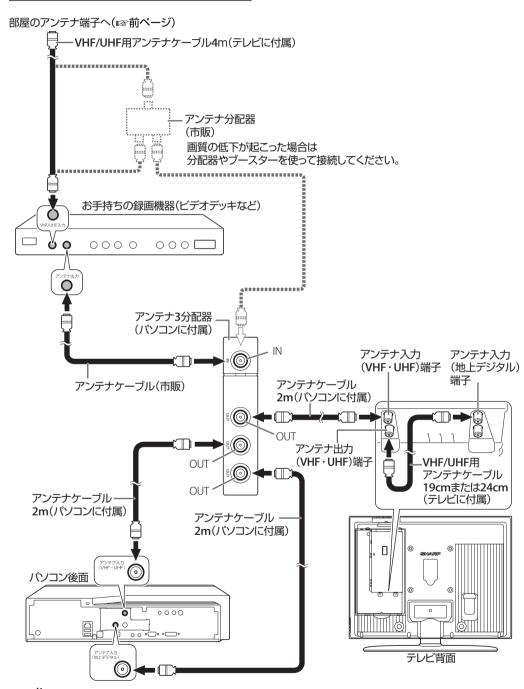
ご参考

- アンテナ入力（VHF・UHF）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：　　　　）をお使いください。
- 映像・音声端子等の接続については 66 ページを参照してください。

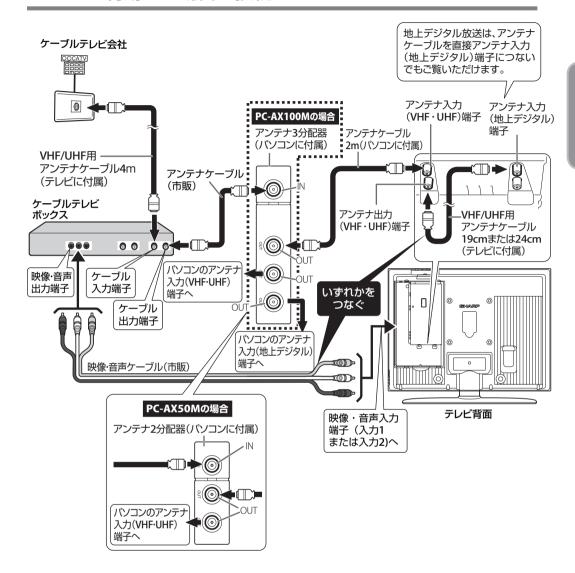
PC-AX100M

PC-AX100M をお使いの場合、下図を参考に各機器を接続します。

ご参考

- アンテナ入力（VHF・UHF）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：）をお使いください。

録画機器を一緒に接続する場合

ご参考

- 映像・音声端子等の接続については 66 ページを参照してください。
- アンテナ入力（VHF・UHF）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：）をお使いください。

CATV を利用する場合の接続

BS・110 度 CS アンテナケーブルを接続する

BS・110 度 CS デジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。詳しくは、お買いあげの販売店にご相談ください。

● アンテナ
- BS·110度CS共用アンテナをご使用ください。

※ 設置の際は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
※ マンションなどで共聴システムを使用しているときは、マンションの管理者にご確認ください。

● アンテナ線
● ブースターまたは分配器
（ご使用の場合）
- 110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをお使いください。
- BS·110度CS共用アンテナに電源を供給する場合は、「電流通過」に対応しているものをお使いください。

これまでBSアナログ放送を見ていた人は…

- 共用ではない従来の BS アナログ用アンテナでは、110 度 CS デジタル放送を見ることはできません。（場合によっては、BSデジタル放送も映らないことがあります。）BS・110 度 CS デジタル放送対応のアンテナをご使用ください。

BS・110 度 CS 共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

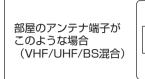
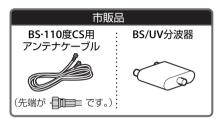
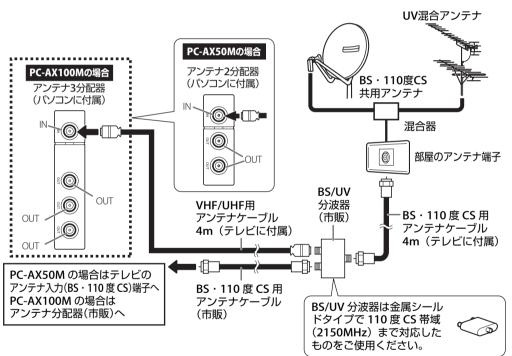
- 機器の電源を切った状態で接続してください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- アンテナケーブルを BS・110 度 CS 用アンテナ入力端子に取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。
- BS・110 度 CS 共用アンテナに電源を供給する場合は、「電流通過」に対応しているものをお使いください。

ご参考

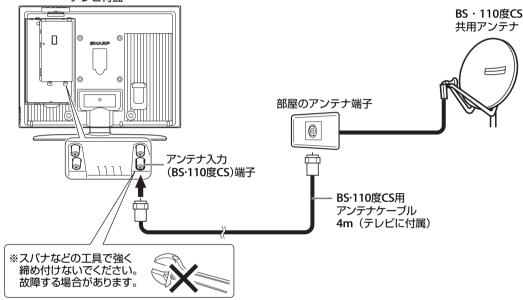
- ケーブルやブースター、分配器などの調整や交換·追加が必要となる場合があります。
- テレビまたはパソコンの BS・110 度 CS 用アンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。
（☞107 ページ、LD-32SP1 72 ページ、LD-37SP1 72 ページ）
ご購入時、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- BS・110 度 CS 用アンテナ入力端子は、BS・110 度 CS アンテナに取り付けられた BS·110度CSコンバーターに＋15V/＋11Vの電源を供給する働きももっています。
（テレビの [電源] を押して電源を切ったときは、テレビから BS・110 度 CS 共用アンテナに電源は供給されません。パソコンの電源が切れているとき、スタンバイのときは、パソコンから BS・110 度 CS 共用アンテナに電源は供給されません。）

BS･110度CSとVHF/UHFが混合されているとき（マンションなど、共聴システムの場合）

BS/UV分波器（市販）を使用して接続します。

ご参考

- 共聴システムでアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定を「切」にしてください。（☞107ページ、LD-32SP1 72ページ、LD-37SP1 72ページ）
- BS/UV分波器は、金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

PC-AX50M

PC-AX50M をお使いの場合、下図のように接続します。

テレビに付属

BS·110度CS用
アンテナケーブル（4m）

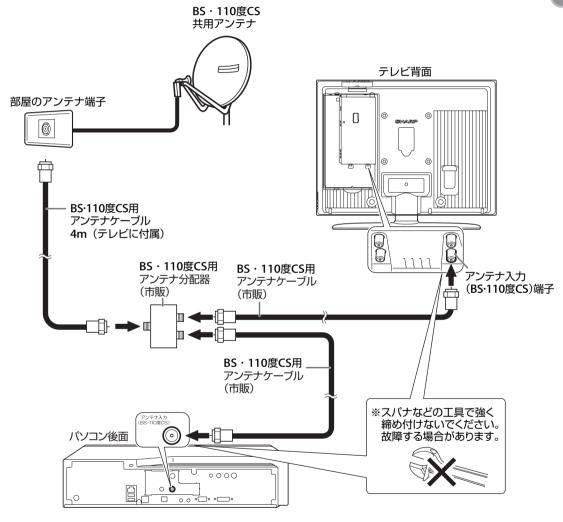
（先端が です。）

※スパナなどの工具で強く
締め付けないでください。
故障する場合があります。

ご参考

- アンテナ入力（BS・110 度 CS）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端に六角形の金属プラグ（先端金属ネジ止めタイプ）が付いているもの（形状：　）をお使いください。
- 個人でアンテナを設置している場合は、アンテナ電源の設定を「入」にしてください。（☞ LD-32SP1 72 ページ、LD-37SP1 72 ページ）

PC-AX100M

PC-AX100M をお使いの場合、下図のように接続します。

BS・110度CS
共用アンテナ

部屋のアンテナ端子

テレビ背面

BS·110度CS用
アンテナケーブル
4m（テレビに付属）

BS・110度CS用
アンテナ分配器
（市販）

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販）

アンテナ入力
（BS·110度CS）端子

BS・110度CS用
アンテナケーブル
（市販）

パソコン後面

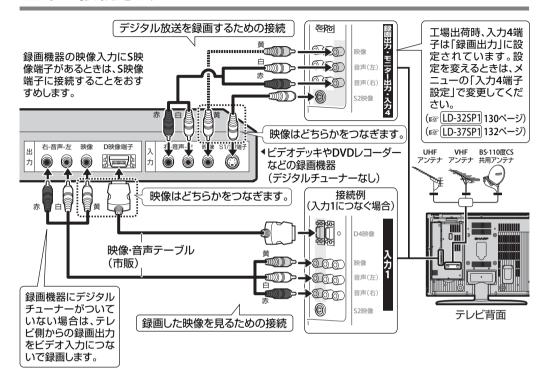
アンテナ入力
（BS·110度CS）

※スパナなどの工具で強く
締め付けないでください。
故障する場合があります。

ご参考

- アンテナ入力（BS・110 度 CS）端子への接続には、付属のアンテナケーブルのうち、先端に六角形の金属プラグ（先端金属ネジ止めタイプ）が付いているもの（形状：　）をお使いください。
- 個人でアンテナを設置している場合は、BS・110 度 CS 用アンテナ分配器（市販）の説明書を参照して、テレビとパソコンのアンテナ電源の設定を「入」（「オン」）または「切」（「オフ」）にしてください。
（☞107 ページ、LD-32SP1 72 ページ、LD-37SP1 72 ページ）

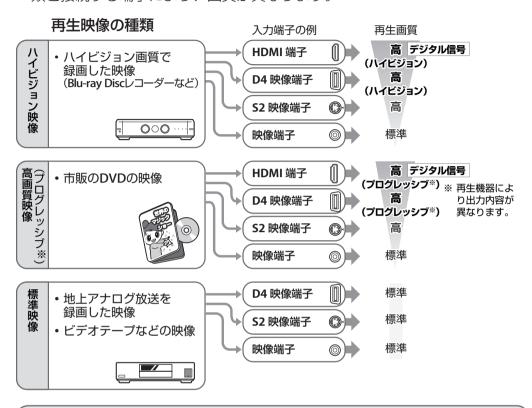
テレビとお手持ちの録画機器を接続する

基本の接続方法

よりきれいな映像で楽しみたいときは

放送される番組を高画質で楽しみたい場合

放送の種類により、画質が異なります。

再生映像を高画質で楽しみたい場合

DVD プレーヤーなどの再生機器で再生した映像を見る場合は、再生元の種類と接続する端子により、画質が異なります。

テレビの接続端子の種類 ※ 専用のケーブルが必要になります。

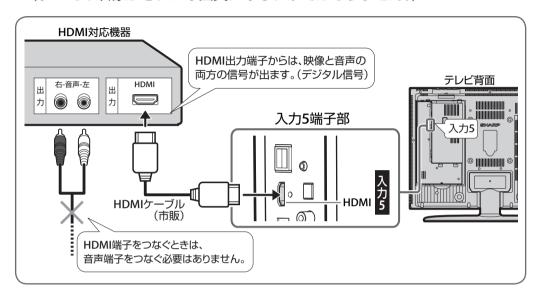
テレビに接続する機器についている端子の形状を確認して、ケーブルを選んでください。

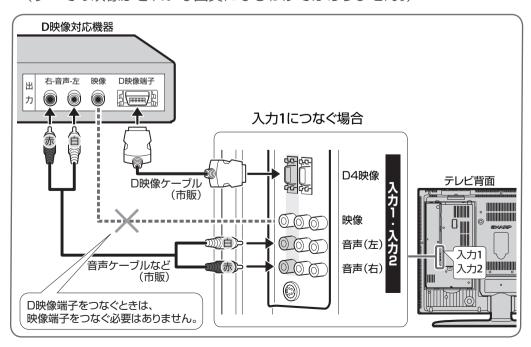
※テレビの入力1〜6と、接続する機器の端子番号は、必ずしも同じではありません。

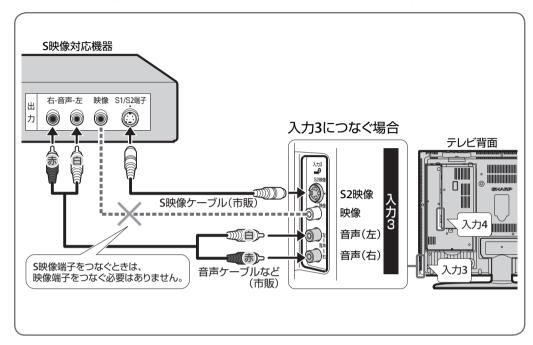
端子のなまえ	端子のかたち	本機の入力端子
D4端子		入力1・2
S2端子		入力3・4
HDMI端子		入力5
DVI-I端子		入力6
i.LINK(TS)端子		i.LINK(TS)
映像・音声端子		入力1〜4、入力6(音声)

設置・接続

HDMI ケーブルで接続するとき

テレビの入力 5 と HDMI 対応機器の HDMI 出力を HDMI ケーブル（市販）で接続します。
高画質映像を再生した場合は映像端子よりも鮮明な画質になります。
（すべての映像がきれいな画質になるわけではありません。）

D 映像ケーブルで接続するとき

テレビの入力 1 または入力 2 と D 映像対応機器の D 映像出力（D1 ～ D4）を D 映像ケーブル（市販）で接続します。
高画質映像を再生した場合は映像端子よりも鮮明な画質になります。
（すべての映像がきれいな画質になるわけではありません。）

S 映像ケーブルで接続するとき

テレビの入力 3 または入力 4 と S 映像対応機器の S 映像出力を S 映像ケーブル（市販）で接続します。
高画質映像を再生した場合は映像端子よりも鮮明な画質になります。
（すべての映像がきれいな画質になるわけではありません。）

各機器との接続については

下記の機器との接続のしかたについて詳しくは、テレビの取扱説明書の「**録画や再生などの機器の接続**」（☞ LD-32SP1 111 ページ、LD-37SP1 113 ページ）をご覧ください。

- ビデオデッキ
- HDD/DVD レコーダー
- D-VHS ビデオデッキ
- AV-HDD レコーダー
- Blu-ray Disk レコーダー
- ハイビジョンカメラ
- ビデオカメラ
- HDMI 対応機器
- シアターシステム
- ビデオコントローラー

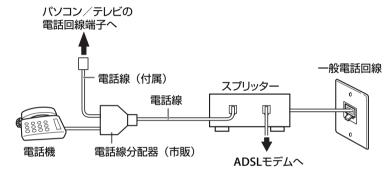
電話線を接続する

本機（PC-AX100M）およびテレビは、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。

双方向番組に参加する場合や有料放送を受信する場合は、電話回線に接続してください。（一部の双方向番組は LAN 接続でも利用できます）

ご参考

ADSL 回線の接続について

- ADSL 回線に接続する際には、スプリッターから 2 分配器または 3 分配器を用いて接続してください。

ご注意

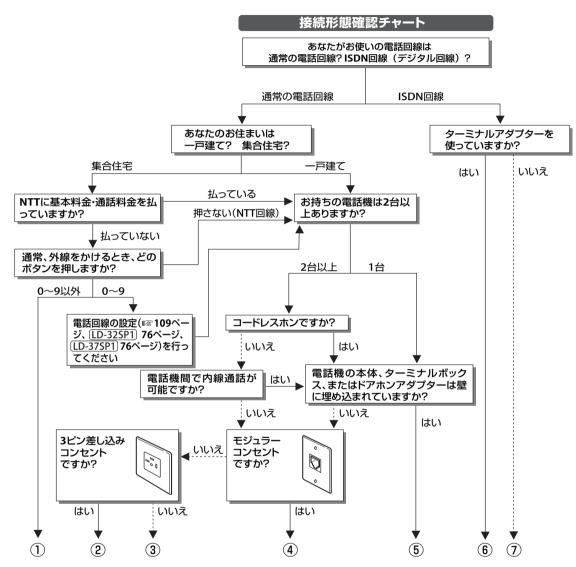
次の電話回線では注意が必要です

- 構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）ではそのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
  詳細は電話設置会社にご相談ください。
- キャッチホンでは通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。
- 直接デジタル回線に接続することはできません。
  会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）などの端末器を介して接続してください。
- テレビやパソコンが電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。
  通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

ご参考

- テレビやパソコンが放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリの呼出音が鳴る場合がありますが異常ではありません。
- IP 電話など NTT 以外の電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線の状態を確認する

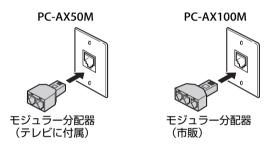
下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
詳細は NTT へお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線に接続してください。
② 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプター(市販)をお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 電話線(付属)とモジュラー分配器(PC-AX50M はテレビに付属、PC-AX100M は市販)で接続可能です。(☞73、74 ページ)
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ テレビとパソコン（PC-AX100M のみ）をターミナルアダプターに直接接続してください。
⑦ ターミナルアダプター(市販)を使用し、テレビとパソコン(PC-AX100M のみ)をターミナルアダプターに直接接続してください。
詳しくは、ターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

※ 工事については、お近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）でご相談ください。

電話線の接続のしかた

1 電話機の電源を切ります。

2 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントから外します。

3 モジュラー分配器を電話線コンセントに差し込みます。

4 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込みます。

5 付属の電話線と機器の電話回線端子を接続します。

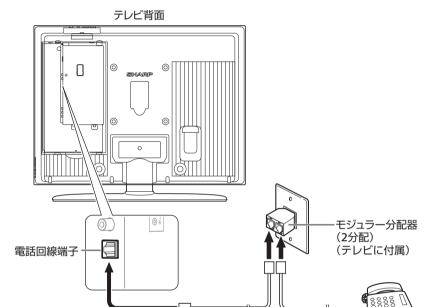
電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- **3 ピンプラグの場合**
  市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- **直結配線方式の場合**
  簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

ご注意

接続するときは

- テレビ、パソコン、電話機の電源を切った状態で接続してください。
- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

PC-AX50M

PC-AX50M をお使いの場合、下図のように接続します。

ご注意

- 形状が似ているので、誤って LAN 端子に差し込まないようにしてください。誤って差し込むと、故障の原因になります。

PC-AX100M

PC-AX100M をお使いの場合、下図のように接続します。

パソコンに付属	テレビに付属	市販品
電話線	電話線	モジュラー分配器

テレビ背面

電話線（テレビに付属）

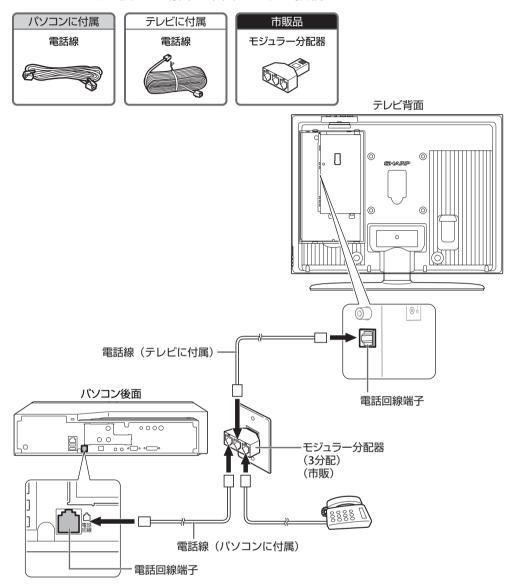
電話回線端子

パソコン後面

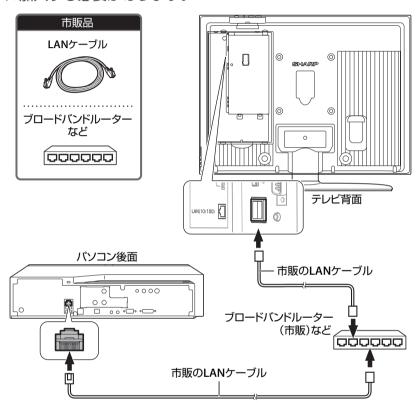
モジュラー分配器
（3分配）
（市販）

電話線（パソコンに付属）

電話回線端子

ご注意

- 形状が似ているので、誤って LAN 端子に差し込まないようにしてください。誤って差し込むと、故障の原因になります。

LAN ケーブルを接続する

ADSL や CATV、FTTH（光ファイバー）などのインターネット接続環境をお持ちで、インターネットを利用した双方向番組に参加する場合は、LAN ケーブル（市販）を接続します。
お使いの ADSL モデムまたはケーブルモデム、回線終端装置にルーター機能がない場合は、ブロードバンドルーターが必要です。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービス会社（プロバイダー）に加入する必要があります。

ご参考

- インターネットへの接続は専門知識が必要です。各事業者にお問い合わせください。
- インターネットへの接続については、パソコン機能編の「インターネット／通信」－「インターネットに接続する」を参照してください。
- デジタル放送では LAN 接続した場合でも、電話回線で通信が行われることがあります。必ず電話回線にも接続してください。（☞70 ページ）
- テレビに接続する LAN ケーブルは 10BASE-T/100BASE-TX タイプをご使用ください。パソコンに接続する LAN ケーブルは 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T タイプをご使用ください。また、モデムやルーターにより必要な種類（ストレート／クロス）が異なります。詳しくは、モデムやルーターの説明書をご覧ください。
- ブロードバンドルーターの代わりに、ルーター機能搭載の ADSL モデムとハブを組み合わせてご使用の場合は、LAN ケーブルをハブに接続してください。
- PC-AX100M に内蔵されているモデムは、デジタル放送視聴の際に、双方向番組への参加や有料放送の受信情報管理に使用します。

設置・接続

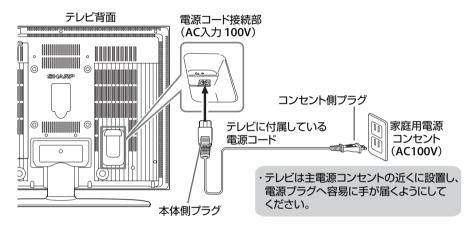
テレビを電源に接続する

ご注意

- 接続が終わるまでは、テレビの電源スイッチを「入」にしないでください。

PC-AX50M

PC-AX100M

テレビに付属している電源コードの本体側プラグを、テレビ背面右側の「AC 入力　100V」端子に接続し、コンセント側プラグを AC100V のコンセントに接続します。

ご注意

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV 番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV 番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

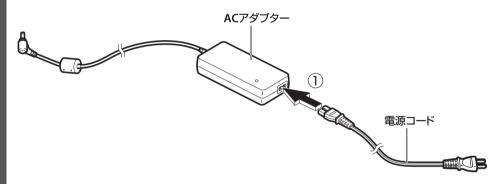
パソコンを電源に接続する

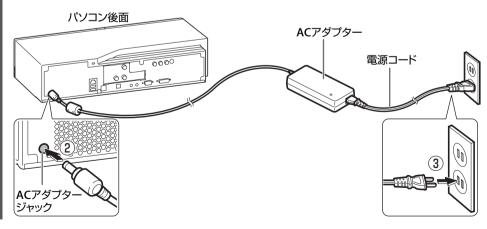
ご注意

必ずパソコンに付属しているACアダプターと電源コードを使用してください

- ACアダプター（EA-AL1V）および電源コードは、必ずこのパソコンの付属品を使用してください。付属品以外のものを使用すると、故障の原因になります。

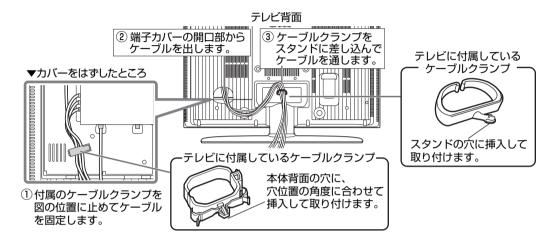
①②③の各接続部は、しっかりと奥まで差し込んでください。

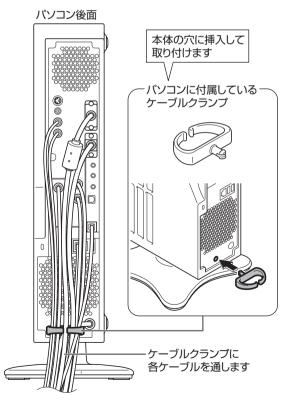
1 **電源コード（パソコンに付属）を、ACアダプターに接続します。**

2 **ACアダプターのコネクターを、後面のACアダプタージャックに差し込みます。**

3 **電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。**

ケーブルをまとめる

PC-AX50M

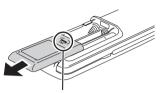
PC-AX100M

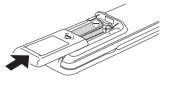
テレビ背面の端子部につないだケーブル類は、テレビに付属しているケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめられます。

パソコン後面の端子部につないだケーブル類は、パソコンに付属しているケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめられます。

テレビの設定

テレビを使えるようにする

リモコンに乾電池を入れる

テレビのリモコンに、テレビに付属の乾電池を入れます。

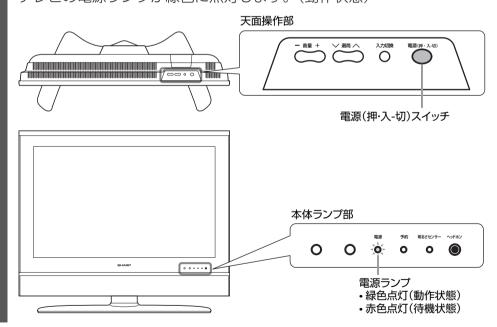
①カバーを開ける

▽部分を軽く押しながら、矢印の方向にスライドさせます。

②付属の単4形乾電池を入れ、カバーを閉める

⊕⊖の表示どおりに乾電池を入れてください。

リモコンを操作するときは、テレビの画面右下の受光部に向けるようにしてください。

テレビの電源を入れる

1 **テレビの天面操作部の電源（押・入 - 切）スイッチを押し、電源を「入」にします。**

テレビの電源ランプが緑色に点灯します。（動作状態）

テレビのチャンネル設定をする

下記の項目をご覧になり、テレビのチャンネル設定を行ってください。

テレビの【かんたん!! ガイド】

- 地上アナログ放送を見るための設定 .... 13 ページ
- 地上デジタル放送を見るための設定 .... 14 ～ 17 ページ
- BS・110 度 CS デジタル放送を見るための設定... 18 ～ 19 ページ

双方向通信の設定をする

テレビでデジタル放送の双方向番組に参加するため、電話線や LAN ケーブルを接続した場合は、テレビの取扱説明書をご覧になり、設定を行ってください。

テレビに電話回線を接続した場合は

テレビの【取扱説明書】の「デジタル放送を視聴するための設定をする」
(☞ 76 ～ 78 ページ)をご覧ください。

テレビに LAN ケーブルを接続した場合は

テレビの【取扱説明書】の「双方向通信を快適に楽しむ(LAN 接続)」
(☞ LD-32SP1 183 ページ、☞ LD-37SP1 185 ページ)をご覧ください。

パソコンの設定

パソコンに B-CAS カードを差し込む

PC-AX100M のみ

B-CAS カードについて

- 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送では、B-CAS（ビーキャス）カードを利用した限定受信システム（＝ CAS）を採用しています。付属の B-CAS カード番号登録用はがきを送り、B-CAS カードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
- B-CAS カードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
- スカパー！ 110、WOWOW デジタルプラス、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

付属の B-CAS カード

B-CAS カードおよびコピー制御信号についてのお知らせ

デジタル放送を視聴するときには、B-CAS カードを必ず挿入してください。

- 2004 年 4 月から、コピー制御のために、B-CAS カードの機能を利用しています。
- B-CAS カードを挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映りません。
- B-CAS カードを挿入していただくことで、番組をお楽しみいただけます。

デジタル放送のほとんどの番組には「1 回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。

- Station TV Digital（付属ソフト）でデジタル録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。（コピーフリーの番組でもダビングできません。）

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288 (午前 10 時〜午後 8 時) (2005 年 12 月現在)

B-CASカードについて

- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。（2004 年 12 月現在）
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
（カスタマーセンターの連絡先は、B-CAS カードに記載されています。）

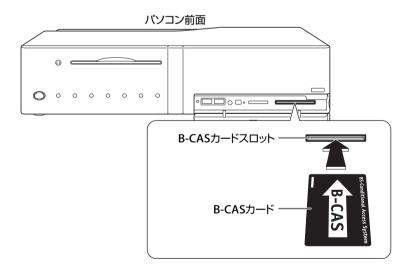
ご注意

B-CAS カード取り扱い上のご注意

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属部（集積回路）には手を触れないでください。
- B-CAS カードを分解、加工しないでください。
- B-CAS カードは本機の B-CAS カード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機をご使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CAS カードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ゆっくりと抜いてください。
- B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

パソコン前面のカバーを開き、B-CAS カードを差し込みます。

ご注意

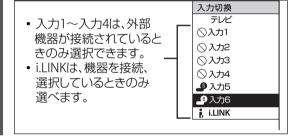
- パソコンの電源を切った状態で挿入してください。
- B-CAS カードを挿入するときは、カードの向きに注意してください。

パソコンを使えるようにする

パソコンを使える状態にするには、テレビにパソコンの画面が映るように設定する必要があります。パソコンの電源を入れる前に、以下の手順に従って設定してください。

パソコンの画面が映るように設定する

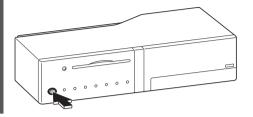
1 **パソコンに付属しているリモコンをテレビに向けて、入力切換○ を押します。**

「入力切換」メニューが表示されます。

2 **入力切換メニュー表示中に、入力切換○ を押し、「入力6」を選びます。**

これでパソコンの画面がテレビに映るようになります。

パソコンの電源を入れる

1 パソコンの［電源］を押します。

パソコンの電源ランプが緑色に点灯します。

ご参考

- パソコンの電源の入れ方・切り方について詳しくは、パソコン機能編 の「基本」－「パソコンの電源を入／切する・スタンバイにする」を参照してください。

テレビの画面にパソコンの画面が映ったら、「Windows のセットアップ」（☞ 次ページ）と「パソコンのチャンネル設定をする」（☞ 99 ページ）を行ってください。

ご参考

- テレビにパソコンの画面が映らなかったときは、以下の操作をしてテレビの設定を変更してください。
  ① パソコンに付属しているリモコンの テレビ を押します。
  ② リモコンをテレビに向けて、メニュー を押します。
  メニュー画面が表示されます。
  テレビのメニュー画面について詳しくは、「LD-32SP1」、「LD-37SP1」の取扱説明書の「操作の前に」－「メニューについて」（☞44 ～ 48 ページ）を参照してください。
  ③ ◁ ▷で「機能切換」を選びます。
  ④ △ ▽ で「入力選択」を選び、決定 を押します。
  ⑤ △ ▽ で「デジタル」を選び、決定 を押します。
  ⑥ メニュー または 終了 を押して、メニュー画面を消します。

- テレビにパソコンの画面が切れて映ったときは、以下の操作をしてテレビの設定を変更してください。
  ① パソコンに付属しているリモコンをテレビに向けて 入力切換 を押します。
  ② 入力切換メニュー表示中に、入力切換 を押し、「入力 6」を選びます。
  ③ メニュー を押します。
  メニュー画面が表示されます。
  ④ ◁ ▷で「本体設定」を選びます。
  ⑤ △ ▽ で「入力解像度」を選び、決定 を押します。
  ⑥ △ ▽ で「1360 × 768」を選び、決定 を押します。
  ⑦ メニュー または 終了 を押して、メニュー画面を消します。

パソコンの設定

Windows のセットアップ

このパソコンを使うための準備として、最初に Windows のセットアップという作業をします。セットアップを完了しないと、テレビ番組の録画などができません。

ご注意

セットアップを無事に終了していただくために、以下の事項を必ず守ってください

- Windows のセットアップが完了するまで、パソコンの電源を切らないでください。作業の途中で電源を切ると、Windows が使用できなくなることがあります。
- Windows のセットアップが完了するまで、マウスやプリンターなどの周辺機器は接続しないでください。周辺機器が接続されていると、説明書のとおりに動作しないことがあります。

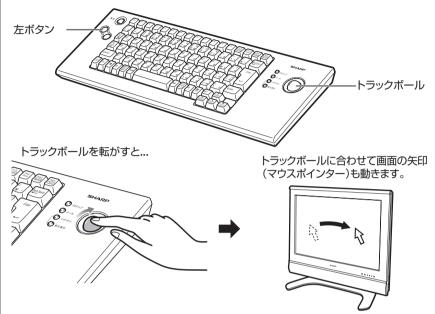
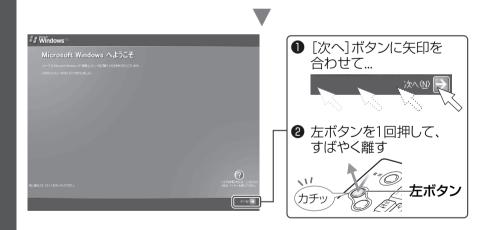
1 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

この画面が表示されるまで何も操作しないでください。

こんなときは

- **画面に何も表示されない場合は**
  パソコンとテレビのPC映像ケーブルの接続を確認してください。(☞55 ページ)
- **急に画面が暗くなったら**
  一定時間パソコンを操作しないでいると、省電力機能が働いて画面表示が消えます。何らかのキーを押すか、トラックボールを操作すると再び表示されます。

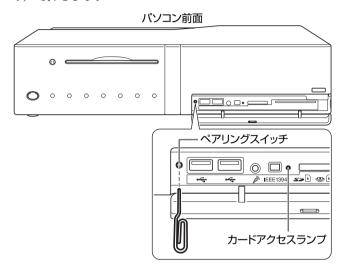
2 トラックボールを使って画面のボタンを押してみましょう。

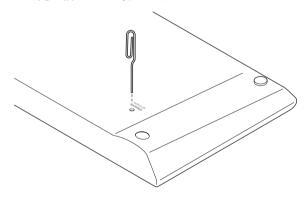
ここからの操作では、トラックボールを使います。ここで少し練習しましょう。

矢印（マウスポインター）の動かし方がわかったら、画面上の［次へ］というボタンを押す操作をしてみましょう。

このように画面上のボタンを押す操作を「クリック」といいます。この後の操作で必要ですので覚えておきましょう。

クリックについて

- 知らないうちに画面が切り換わってしまったときは、［戻る］をクリックすると前の画面に戻ります。

トラックボールが動作しないときは

- パソコンとキーボードをペアリング調整します。
  ペアリング調整とは、パソコンとキーボードを同調させる調整のことです。
  以下の手順でペアリング調整を行ってください。
  ① 前面のペアリングスイッチを先の細いもの（クリップを伸ばしたようなもの）で押します。

カードアクセスランプがゆっくりと赤色（メモリーカードにアクセス中はオレンジ色）に点滅します。

② キーボードをパソコンの前面に置き、キーボード裏側のペアリングスイッチを先の細いもので押します。

カードアクセスランプの点滅が早くなり、点滅が終わったらペアリング調整は完了です。

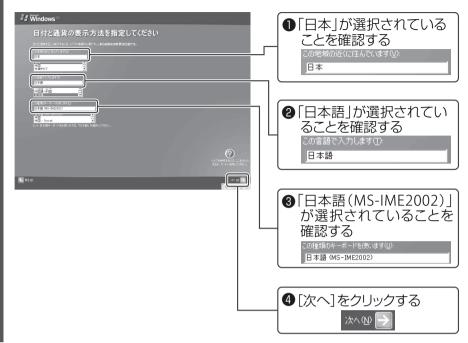
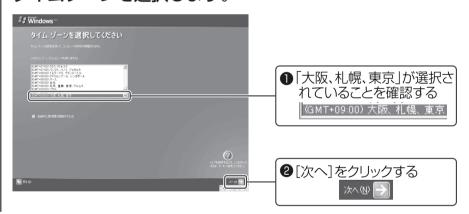
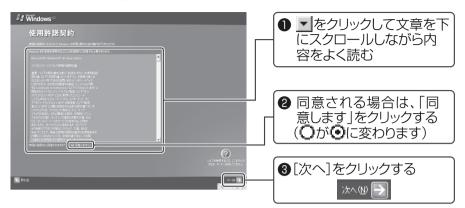
ご注意

キーボード裏側のペアリングスイッチは続けて 2 回押さないでください。

- ペアリング調整が正しく行われなくなります。
  2 回押してしまったときは、カードアクセスランプの点滅が終わってから、上記の①からやり直してください。

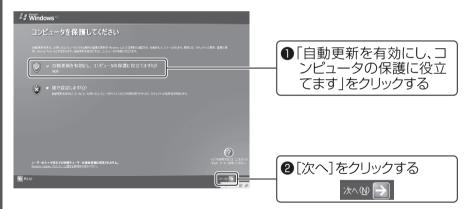
3 日付と通貨の表示方法を指定します。

4 タイムゾーンを選択します。

パソコンの設定

5 「使用許諾契約」の内容をよく読みます。

ご注意

「同意しません」を選ぶと ...

- Windows のセットアップが中止され、このパソコンを使うことができません。

6 Windows の自動更新を有効に設定します。

ご注意

Windows の自動更新とは

- Windows の自動更新を有効にしておくと、インターネット接続時に、Windows Update を自動実行するので、セキュリティの強化などパソコンの保護に役立ちます。Windows Update を実施しないでインターネットに接続すると、ウイルスなどの攻撃を受けやすくなり、セキュリティの危険性が高まります。必ず自動更新を有効にしておいてください。
  Windows Update は、インターネットを利用して Windows を常に最新の環境に整えるマイクロソフト社提供オンラインサポート機能です。

ご注意

パソコンで録画予約する場合は

- Windows の自動更新が有効の場合、更新内容によっては自動でパソコンが再起動し、録画が中断してしまいます。Windows の自動更新は「更新を自動的にダウンロードするが､インストールは手動で実行する」に設定し､通知があった場合に手動でインストールしてください。（☞ レコーダー機能編 の「困ったときは」－「故障かな？と思ったら」－「録画に関するトラブル（ハードディスク録画）」）

7 コンピュータの名前はセットアップ完了後に設定します。

すでに特定の名前が入力されている場合がありますが、このまま省略で進んでください。後から設定し直すこともできます。

コンピュータに名前を付けるには

- セットアップ終了後、パソコン機能編 の「インターネット／通信」－「ネットワークに接続する（LAN）」を参照してください。

[省略]をクリックする

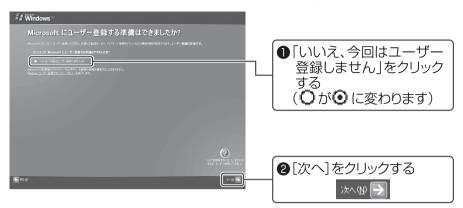
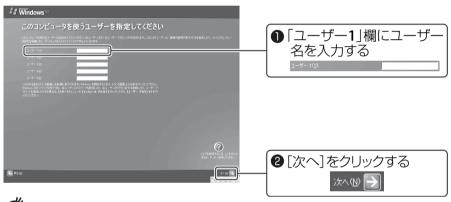
省略(S)

8 インターネットへの接続を省略します。

しばらくすると、次のいずれかの画面が表示されますので、[省略] をクリックしてください。

[省略]をクリックする

省略(S)

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択します。

10 このコンピュータを使う人を登録します。

ご参考

ユーザー名について

- Windows XP ではユーザーごとにパソコンの使用環境を設定することができます。複数のユーザー名を入力することができますが、ここでは、「ユーザー1」欄のみ入力してください。
  複数のユーザーでこのパソコンを使うときは、セットアップ完了後、**【パソコン電子マニュアル】**（☞139 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」－「**ユーザー**」－「**1 台のパソコンを何人かで使い分けたい**」を参照してください。

11 セットアップを完了します。

[完了]をクリックする

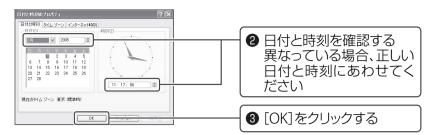
▼

パソコンが再起動して数分経過すると、Windows のデスクトップ画面が表示されます。次の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。

※ アイコンの種類や位置、メニューに表示される項目などは、実際の画面と異なる場合があります。

12 日付と時刻の設定を行います。

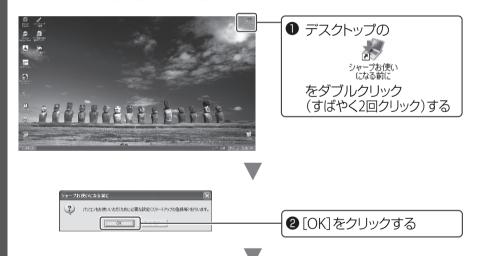
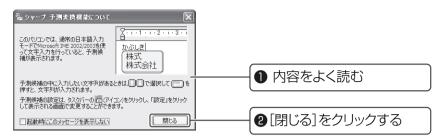
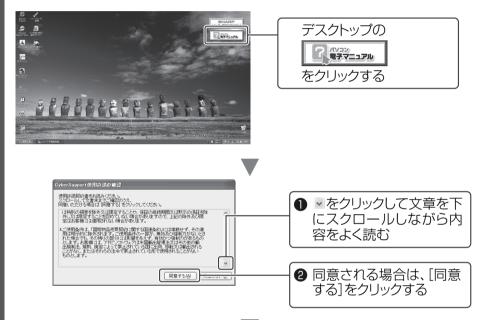
❶ タスクバーの時刻表示をダブルクリック（すばやく2回クリック）する

▼

日付と時刻の合わせ方

① 日付欄の「月」の右側にある をクリックして、正しい月を選択します。
②「年」の右側にある をクリックして、正しい年を選択します。
③ カレンダーから正しい日をクリックして選択します。
④ 時刻欄の時刻（時・分・秒）をクリックして、正しい時間をそれぞれ入力します。
時刻の右側にある をクリックしても時間を変えることができます。
⑤［OK］をクリックします。

13 パソコンの初期設定を行います。

初期設定が完了し、次の画面が表示されます。

パソコンの設定

14 シャープ予測変換機能についての説明を読みます。

15 電子マニュアルの初期設定を行います。

初期設定が完了し、次の画面が表示されます。

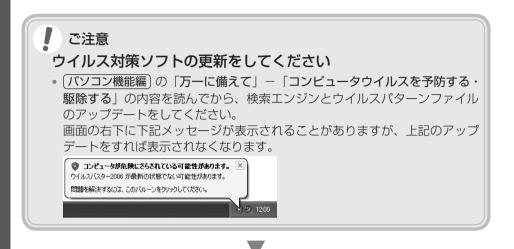
これでパソコンの準備は完了です。

パソコンの設定

ご注意

ウイルス対策ソフトの更新をしてください

- パソコン機能編 の「万一に備えて」－「コンピュータウイルスを予防する・駆除する」の内容を読んでから、検索エンジンとウイルスパターンファイルのアップデートをしてください。
画面の右下に下記メッセージが表示されることがありますが、上記のアップデートをすれば表示されなくなります。

▼

次ページの「パソコンのチャンネル設定をする」にお進みください。

パソコンのチャンネル設定をする

パソコンのチャンネル設定をすると、テレビ番組の録画が可能になります。
ここでは、パソコンのテレビチューナーのチャンネル設定について説明します。
テレビのチャンネル設定については「LD-32SP1」、「LD-37SP1」の取扱説明書をご覧ください。

ご参考

- アンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください。(☞56、62ページ)
- RS-232C ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(☞55 ページ)
  接続されていないと、デジタル放送の画質調整（自動）が行われません。

デジタル放送のチャンネルを設定する

PC-AX100M のみ

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF 帯）です。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。

お住まいの地域でデジタル放送が始まってから設定してください。

「簡単設定ナビ」を使えば、デジタル放送を楽しむために必要な設定が一括して行えます。

1 リモコンの HDD/DVD レコーダー を押します。

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

2 (4) を押します。

デジタル放送を視聴・録画するための StationTV Digital（付属ソフト）が起動します。

- 初めて起動したときは、手順 **7** に進んでください。
- 2 回目以降の起動では、手順 **3** に進んでください。

ご参考

- 初めて起動したときは、「使用許諾」画面が表示されます。内容を確認して、同意される場合は、[はい] が選ばれていることを確認し、[決定] を押します。
- メニュー表示中にリモコンの［戻る］を押すと、メニューの選択をキャンセルできます。

3 右ボタン を押します。

メニューが表示されます。

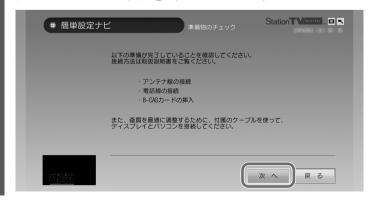
4 で「設定」を選び、決定 を押します。

5 で「機器に関する設定」を選び、決定 を押します。

6 で「簡単設定ナビ」を選び、決定 を押します。

「簡単設定ナビ」画面が表示されます。

7 画面の準備項目を確認し、 で「次へ」を選び、決定 を押します。

「アンテナ線の接続」(☞ 56、62 ページ)
「電話線の接続」(☞ 70 ページ)
「B-CAS カードの挿入」(☞ 84 ページ)

8 パソコンをご使用になる地域で地上デジタル放送が開局しているかどうかを設定します。

開局しているとき　：〈 〉で「はい」を選び、決定を押します。

開局していないとき：〈 〉で「いいえ」を選び、決定を押します。

「いいえ」を選んだときは、BS・110度CSデジタル放送の設定だけになりますので、手順 **20** に進んでください。

ご参考

- 地上デジタル放送の受信可能エリアは、下記の（社）地上デジタル放送推進協会のホームページで確認できます。（2006年4月現在）
  http://www.d-pa.org/

9 パソコンをご使用になる受信地域を設定します。

︿﹀〈 〉で「東京」を選び、決定を押します。

「東京」が編集状態（青色）になります。

10 で地域を選び、決定を押します。

11 で「スキャン」を選び、決定を押します。

受信できる放送局の登録が始まります。

- 登録が成功すると「CATV 周波数変換パススルー帯域もスキャンしますか？」と表示されます。
- 登録が失敗すると「電波を受信できません。」と表示されます。決定を押すと「CATV 周波数変換パススルー帯域もスキャンしますか？」と表示されます。CATV でデジタル放送を受信しないときは、で「いいえ」を選び、決定を押します。「チャンネルスキャンが終わりました。」と表示されますので、決定を押します。「地上デジタル放送を視聴するためには、チャンネルスキャンを実施してください。」と表示されますので、決定を押します。アンテナケーブルが正しく接続されているか確認し、手順 **11** からやり直してください。

12 **〈 〉で「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押します。**

CATV でデジタル放送を受信するとき　：「はい」を選びます。
CATV でデジタル放送を受信しないとき：「いいえ」を選びます。

「はい」を選んだ場合、受信できる放送局の登録が始まります。

13 **「チャンネルスキャンが終わりました。」と表示されたら、決定 を押します。**

「電波を受信できません。」と表示されたら、決定 を押します。「地上デジタル放送を視聴するためには、チャンネルスキャンを実施してください。」と表示されますので、決定 を押します。アンテナケーブルが正しく接続されているか確認し、手順 **11** からやり直してください。

14 **「次へ」が選ばれていることを確認し、決定 を押します。**

15 ボタン（チャンネル）の割り当てを確認します。

- ボタンの割り当てを変更する場合は、手順 **16** に進んでください。
- ボタンの割り当てを変更しない場合は、〈 〉で「次へ」を選び、決定を押します。手順 **19** に進んでください。

16 ▲ ▼ でボタン（チャンネル）の割り当てを変更したい行を選び、決定 を押します。

選んだ行が編集状態（青色）になります。

17 でボタンに割り当てたい放送局を選び、決定 を押します。

複数のボタン（チャンネル）の割り当てを変更する場合は、手順 **16** ～ **17** を繰り返してください。

18 で「次へ」を選び、決定 を押します。

19 「リモコンボタン設定を更新しました。」と表示されたら、決定 を押します。

パソコンの設定

20 衛星アンテナへの電源供給について設定します。

▲ ▼ で「オフ」を選び、決定 を押します。

「衛星アンテナ電源」が編集状態（青色）になります。

21 ▲ ▼ で「オフ」または「オン」を選び、決定 を押します。

マンションなど共聴システムのとき：

「オフ」を選びます。

個人で衛星アンテナを設置しているとき：

BS・110 度 CS 用アンテナ分配器（市販）の説明書を参照して、アンテナ電源の設定を「オン」または「オフ」を選びます。

22 ▼ で「次へ」を選び、決定 を押します。

23 パソコンをご使用になる地域の郵便番号と都道府県名を設定します。

〈 〉で各項目を移動し、決定 を押します。

選んだ項目が編集状態（青色）になります。

「郵便番号」：リモコンまたはキーボードで郵便番号を入力し、決定 を押します。

「県域設定」：︿ ﹀ で都道府県名を選び、決定 を押します。

24 ﹀ で「次へ」を選び、決定 を押します。

25 ご使用の電話回線について設定します。

で各項目を移動し、決定を押します。
選んだ項目が編集状態（青色）になります。
で設定値を選び、決定を押します。

モデム	「HDAUDIO Soft Data Fax Mode. .」を選びます。
外線設定	外線交換機を使用しないときは入力しません。電話交換機などを使用するときは、リモコンまたはキーボードで外線発信番号を入力します。

26 で「テスト」を選び、決定を押します。

電話回線をつながないときは、で「次へ」を選び、決定を押します。手順 **28** に進んでください。

ご参考

- 双方向番組に参加する場合や有料放送を受信する場合は、電話回線に接続してください。

電話回線のテストが始まります。

パソコンの設定

27

- **「電話回線のテストが成功しました。」と表示された場合は、で「次へ」を選び、決定を押します。**
- **「電話回線のテストが失敗しました。」と表示された場合は、電話線の接続と電話回線の契約内容を再確認し、手順 25 からやり直してください。**

28

「B-CAS カードテスト」が選ばれていることを確認し、決定を押します。

B-CAS カードのテストが始まります。

29

- **「B-CAS カードテスト：OK」と表示された場合は、で「次へ」を選び、決定を押します。**

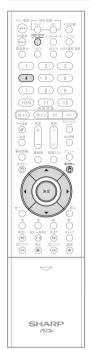
  「簡単設定ナビ」の終了画面が表示されます。
- **「B-CAS カードテスト：NG」と表示された場合は、B-CAS カードをいったん抜き、カードを正しい向きで差し込み直してから、再度 B-CAS カードテストをしてください。**

30

「終了」が選ばれていることを確認し、決定を押します。

これで、デジタル放送のチャンネル設定は完了です。

LAN 設定をする

一部の双方向番組は LAN にも対応しています。**LAN で双方向番組を利用する場合は、LAN 設定を行ってください。**

1 リモコンの HDD/DVDレコーダー を押します。

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

2 を押します。

デジタル放送を視聴・録画するための StationTV Digital（付属ソフト）が起動します。

ご参考

- メニュー表示中にリモコンの［戻る］を押すと、メニューの選択をキャンセルできます。

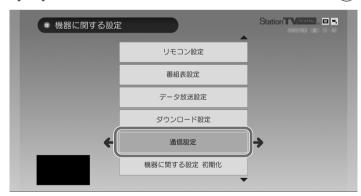
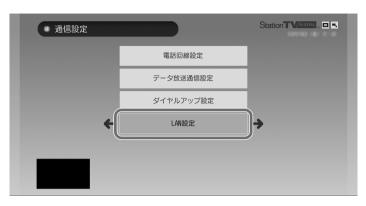
3 右ボタン を押します。

メニューが表示されます。

パソコンの設定

4 で「設定」を選び、決定 を押します。

5 で「機器に関する設定」を選び、決定 を押します。

6 を 2 回押して「通信設定」を選び、決定 を押します。

7 で「LAN 設定」を選び、決定を押します。

8 ご使用の LAN について設定します。

で各項目を移動し、決定を押します。
選んだ項目が編集状態（青色）になります。
で設定値を選び、決定を押します。

ネットワーク選択	「Realtek RTL168/8111 PCI-E..」を選びます。
Proxy サーバホスト名	Proxy サーバを経由しないときは入力しません。プロバイダーから Proxy サーバのホスト名が指定されている場合は、ホスト名をキーボードで入力します。
Proxy サーバポート番号	Proxy サーバを経由しないときは入力しません。プロバイダーから Proxy サーバのポート番号が指定されている場合は、ポート番号をキーボードで入力します。

パソコンの設定

9 で「決定」を選び、決定を押します。

これでデジタル放送の LAN 設定は完了です。

10 戻るを数回押します。

テレビの視聴に戻ります。

チャンネル設定が終わったら

テレビのチャンネル設定と違いがないかを確認してください。
テレビとパソコンでは、それぞれ別のチューナーを搭載していますので、お住まいの地域によっては受信レベルに差が出て、テレビでは設定された放送局がパソコンで設定されないことなどがあります。このようなときは、アンテナやケーブル、分配器、ブースターなどの調整や交換・追加が必要になる場合があります。

StationTV Digital でのテレビ視聴をやめる

1 終了を押します。

StationTV Digital が終了します。

ご参考

- StationTV Digital の画面は、右ボタン を押してメニューを表示させ、画面右上の をクリックして閉じることもできます。

- StationTV Digital の画面は、[メニュー] を押してメニューを表示させ、[▲・▼] で「StationTV Digital 終了」を選び、[決定] を押すことで閉じることもできます。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

チャンネルの設定方法

地域を選んで一括設定する(地域選択) 下記

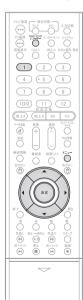
パソコンをご使用になる地域を指定すると、その地域で受信できる放送局を一度に登録できます。

1局ずつ手動で設定する(個別) 120ページ

1局ずつ手動で登録する方法です。
CATVのチャンネル設定もこの方法で登録します。

チャンネル設定完了

地域を選んで一括設定する（地域選択）

パソコンをご使用になる地域を選択することで、その地域で受信できるチャンネル／放送局が一度に設定されます。

1 **リモコンの HDD/DVDレコーダー を押します。**

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

この画面は PC-AX100M で表示されるものです。PC-AX50M ではデジタル放送のメニューは表示されません。

2 （1）を押します。

地上アナログ放送を視聴・録画するための StationTV G2（付属ソフト）が起動します。

- 初めて起動したときは、チャンネル設定を促す画面が表示されます。（決定）を押すと、チャンネル設定画面が表示されます。手順 **5** に進んでください。
- 2 回目以降の起動では、手順 **3** に進んでください。

ご参考

- メニュー表示中にリモコンの［戻る］を押すと、メニューの選択をキャンセルできます。

3 （メニュー）を押します。

メニューが表示されます。

4 （▲）（▼）でメニューの下にある「設定」を選び、（決定）を押します。

「設定」画面が表示されます。

5 「チャンネル」タブがオレンジ色になっていることを確認し、決定 を押します。

6 「受信」欄の「地上波」がオレンジ色になっていることを確認し、 を押します。

「地域選択」の欄がオレンジ色になります。

 ご参考

- 「受信」欄で 決定 を押し、 を押すと「CATV」が表示されますが、ここでは選ばないでください。CATV のチャンネルを設定するときは、**1 局ずつ手動で設定する（個別）**（☞120 ページ）を参照してください。

パソコンの設定

7 決定 を押して表示されるリストから、パソコンをご使用になる地域を ⌃ ⌄ で選び、決定 を押します。

ご参考

- 地域選択リストにお住まいの地域がないときは、ご使用になる場所に最も近い地域を選んでください。

8 〉 を押して「決定」 選び、決定 を押します。

チャンネル／放送局名が自動的に入力されます。
これで、地上アナログ放送のチャンネル設定は完了です。

設定を終了するには

戻る ○ を数回押します。

StationTV G2 でのテレビ視聴をやめる

1 終了 ○ を押します。
StationTV G2 が終了します。

- StationTV G2 の画面は、テレビ画面で［メニュー］を押してメニューを表示させ、［▲・▼］で「StationTV G2 終了」を選び、［決定］を押すことで閉じることもできます。
- StationTV G2 をキーボードで終了するときは、テレビ画面を右クリックし、「StationTV G2 終了」をクリックします。
- StationTV G2 が録画中のときは、［終了］を押しても終了できません。

1 局ずつ手動で設定する（個別）

通常は「地域選択」だけで使えますが、以下のような場合は個別にチャンネルを設定してください。

- CATV をご利用の場合
- 選んだ「地域」の設定に入っていない、周辺地域のチャンネル／放送局を試してみる場合

1 **リモコンの HDD/DVD レコーダー を押します。**

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

この画面は PC-AX100M で表示されるものです。PC-AX50M ではデジタル放送のメニューは表示されません。

2 **（1）を押します。**

地上アナログ放送を視聴・録画するための StationTV G2（付属ソフト）が起動します。

3 メニュー ◯ を押します。

メニューが表示されます。

4 でメニューの下にある「設定」を選び、決定 を押します。

「設定」画面が表示され、「チャンネル」タブが選ばれた状態（白地に黒文字）になります。

5 「チャンネル」タブがオレンジ色になっていることを確認し、決定 を押します。

6 「受信」欄の「地上波」がオレンジ色になっていることを確認し、決定 を押して表示されるリストから、 で「CATV」または「地上波」を選び、決定 を押します。

7 で編集するチャンネルを選び、決定 を押します。

チャンネルの周囲が青色になり、変更できる状態になります。

8 でチャンネルを変更し、決定 を押します。

キーボードで変更することもできます。

9 を押します。

放送局名の部分がオレンジ色になります。

10

- **手順 5 で「地上波」を選んだ場合は、決定 を押して表示されるリストから、▲▼ で放送局名を選び、決定 を押します。**

- **手順 5 で「CATV」を選んだ場合は、決定 を押してから、キーボードで放送局名を入力します。**

ご参考

- 電子番組表を使っての録画予約は、放送局名によってチャンネルを認識しています。このため、番組表で表示される放送局名とキーボードで入力した放送局名が一致しないと、予約録画が正しく行われないことがあります。

チャンネルを 12 チャンネル以上登録するには

を選んで を押すと、次のページに移ります。

設定を終了するには

戻る を数回押します。
これで、パソコンのチャンネル設定は完了です。

StationTV G2 でのテレビ視聴をやめる

1 **終了 を押します。**
StationTV G2 が終了します。

ご参考

- StationTV G2 の画面は、テレビ画面で［メニュー］を押してメニューを表示させ、［▲・▼］で「StationTV G2 終了」を選び、［決定］を押すことで閉じることもできます。
- StationTV G2 をキーボードで終了するときは、テレビ画面を右クリックし、「StationTV G2 終了」をクリックします。
- StationTV G2 が録画中のときは、［終了］を押しても終了できません。

ユーザー登録をする

当社では、情報提供やお客様のサポートなどにおいて、より良いサービスを行うためにユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録していただきますと、ご登録いただいた機種ごとにユーザー登録受付番号を発行させていただきます。以前シャープにユーザー登録をしていただいたお客様も再度ユーザー登録をお願いします。

新しいパソコンを購入

ご注意

電話サポートをお受けになるには、ユーザー登録受付番号が必要です

- 電話でのサポートをお受けになられる場合は、ユーザー登録完了後に発行させていただくユーザー登録受付番号が必要になりますので大切に保管しておいてください。ユーザー登録受付番号は機種ごとに発行させていただきます。

ユーザー登録の方法

ユーザー登録には、オンライン（インターネット経由）で登録する方法と、付属のご愛用者カードを郵送する方法とがあります。

ご参考

- ファイアウォールソフトやルーターなどで通信制限している場合は、オンラインユーザー登録できないことがあります。

シャープのホームページからユーザー登録

すでにインターネットを利用されている方（プロバイダーに加入されている方）は、シャープのホームページからユーザー登録できます。インターネット接続に必要な通信料および接続料はお客さまのご負担になります。ご入力いただいた個人情報は、SSL 技術により暗号化されて当社に送信されます。

ご愛用者カードでユーザー登録

インターネットに接続できない場合は、付属のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、ご投函ください。
「機種名（形名）」および「製造番号」の欄には、本書 27 ページで控えた「機種名」および「製造番号」を記入してください。

シャープのホームページからユーザー登録する

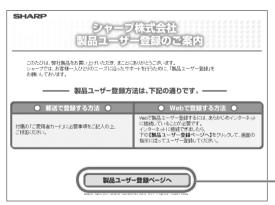
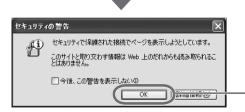
1 通信回線を接続し、インターネットに接続します。

ご参考

- インターネットへの接続については、パソコン機能編 の「インターネット／通信」―「インターネットに接続する」を参照してください。

2 SHARP ユーザー登録はこちらから をクリックします。

「製品ユーザー登録のご案内」画面が表示されます。

3 ユーザー登録ページへ接続します。

「製品ユーザー登録ページへ」をクリックする

[OK] をクリックする

シャープのユーザー登録ページへ接続されます。
画面の指示に従って、ユーザー登録をしてください。
「機種名」欄と「製造番号」欄には、本書の 27 ページで控えた機種名と製造番号を入力してください。

付録

古いパソコンからデータを引き継ごう

安心楽々引越しパック（付属ソフト）を使って、次のような流れで古いパソコンのデータをこのパソコンに引き継ぐことができます。

トラック CD の準備	データの荷造り用ソフトウェアおよび荷解き用ソフトウェアを組み込んだCD（トラックCDと呼ぶ）をこのパソコンで作る。
↓	
引越しデータの荷造り	古いパソコンのデータをディスクに書き込む。
↓	
引越しデータの荷解き	データを書き込んだディスクからこのパソコンにデータを移す。

ご参考

- 「安心楽々引越しパック」は、Drag'n Drop CD+DVD5 の機能を使用していますので、Drag'n Drop CD+DVD5 をアンインストールすると、「安心楽々引越しパック」もアンインストールされ、データの引越しができません。
- データを引き継ぐ操作を行うときは、必ず「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでログオンしてください。「制限付きアカウント」でログオンすると、正しく引越しができなくなります。
- 古いパソコンと新しいパソコンがネットワークで接続されている場合は、ここで説明する方法によらないで、ネットワークを通じてデータの引き継ぎができます。

引き継ぎできるデータ

古いパソコン（引越し元）の次のデータや設定内容を、このパソコンに引き継ぐことができます。

- マイドキュメント
- お気に入り
- Cookies
- Microsoft IME ユーザー辞書
- ダイヤルアップ設定
- デスクトップ
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Office ユーザーテンプレート
- Microsoft Outlook

ただし、古いパソコン（引越し元）の環境や使用状況によって引越しできないデータもあります。詳しくは、「安心楽々引越しパック」のヘルプを参照してください。

- ヘルプを表示するには、[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」－「安心楽々引越しパック」－「安心楽々引越しパックのヘルプ」をクリックします。

付録

トラック CD を準備する

このパソコンで、トラック CD を作成します。

準備するもの

未使用の CD-R または CD-RW　1 枚

ご参考

- 動作確認済みディスクについては、パソコン機能編 の「基本」−「CD・DVD を使う」−「使用可能なディスク」−「動作確認済みディスク」を参照してください。

1 **安心楽々引越しパックを起動します**

このパソコンで［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」−「安心楽々引越しパック」−「安心楽々引越しパック」をクリック。

2 **データの引き継ぎ方法を選択します**

①「トラック CD を使って引っ越しする」をクリック。

②［OK］をクリック。

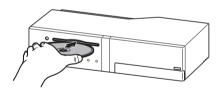
3 **データを書き込みます**

① 新しい CD-R または CD-RW を CD/DVD ドライブにセットして、［OK］をクリック。

ご参考

- Windows が実行する動作の選択画面が表示されたら、［キャンセル］をクリックします。

② 書き込み速度が「Max」になっていることを確認して、［OK］をクリック。

トラック CD の作成が開始されます。トラック CD の作成が終了すると、自動的にディスクが出てきます。

4 **作業を終了します**

①ディスクの両端を持って取り出す。
②［OK］をクリック。

 ご参考

- 「Writing Status Information Window」が表示されている場合は、［閉じる］をクリックします。
- 作成したトラック CD に他のデータを書き込まないでください。
- 作成したトラック CD をクローズしないでください。
- 他の CD と混同しないように、CD ラベル面に「トラック CD」と明記することをお勧めします。

引越しデータを荷造りする

古いパソコンで、引き継ぐデータをディスクにコピーします。

準備するもの

トラック CD

引越しデータが多い場合、新しい CD-R が必要になることがあります。また、CD ではなく DVD に荷造りすることもできます。この場合は、新しい DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW のいずれかをご用意ください。

 ご参考

古いパソコン（引越し元）を次のように設定しておきます。

- 「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する
- スクリーンセーバーを「なし」にする

付録

1 古いパソコンで荷造り用ソフトウェアを起動します

① トラック CD を CD/DVD ドライブにセット。
② ソフトウェア使用許諾契約書の画面で［同意する］をクリック。

ご参考

- Drag'n Drop CD+DVD が古いパソコンにインストールされていない場合、自動的に「Drag'n Drop CD+DVD 安心楽々引越しパック限定版」がインストールされます。インストールが終わるとパソコンが自動的に再起動し、荷造り用のソフトウェアが自動的に起動します。

2 荷造りをします

画面に表示される指示に従って、引越しデータの荷造りをしてください。

ご参考

- 「パスワード登録」画面では、必ずパスワードとパスワードのヒントを入力します。パスワードは荷解きのときに必要ですので、忘れないようにしてください。
- グレー表示されている書き込み先は選択できません。
- 書き込み先に CD を選択した場合、1 枚目のデータはトラック CD に書き込まれます。
- ディスクの入れ替えは、入れ替えのメッセージが表示されてから行ってください。
- 書き込み速度選択画面では、「Max」を選択します。
- 書き込みが終了すると、自動的にディスクが少し出てきます。

3 荷造り作業を終了します

① CD/DVD ドライブからディスクを取り出す。
②［OK］をクリック。

ご参考

- 何らかの事情により荷造りできなかったファイルがあった場合、ファイル名などと原因を明記したテキストファイルがデスクトップに作成されます。ファイル名は「安心楽々引越しパック - 荷造りできなかったファイル .txt」です。

引越しの荷解きをする

古いパソコンのデータを書き込んだディスクから、このパソコンにデータを移します。

準備するもの

荷造りに使用した CD または DVD

1 トラック CD をこのパソコンの CD/DVD ドライブにセットします

DVD に荷造りしたときは、荷造りした DVD の 1 枚目をセットします。
安心楽々引越しパック荷解き用ソフトウェアが起動します。

2 荷解きをします

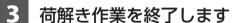
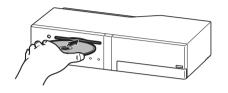
画面に表示される指示に従って引越しデータの荷解きをしてください。

 ご参考

- 「パスワード登録」画面では、前ページの「引越しデータを荷造りする」で入力したパスワードを入力します。

3 荷解き作業を終了します

① CD/DVD ドライブからディスクを取り出す。
② [OK] をクリック。

 ご参考

- 引越したデータの種類によってはパソコンの再起動が必要になる場合もあります。その際は、[OK] をクリックしてパソコンを再起動してください。
- 引越しデータは、いったんハードディスクの空いている場所に格納されます。空き容量が足りない場合は、どの程度足りないか表示されます。その際は、ハードディスク内のデータを整理してからデータの荷解き操作を行ってください。
- 安心楽々引越しパックに関しては、イージーシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、「**パソコン電子マニュアル**」の「**付属ソフトウェア**」—「**お問い合わせ先**」(☞ 139 ページ) でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

さくいん

記号・アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

付録

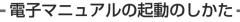
ハ行

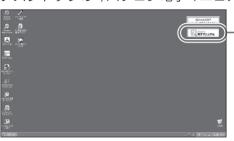
ヤ行

ラ行

画面で見るためのマニュアル（パソコン電子マニュアル）

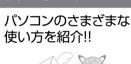
この製品には、画面で見るためのマニュアルがあります。
冊子のマニュアルとあわせてご覧ください。

電子マニュアルの起動のしかた

デスクトップの「パソコン電子マニュアル」をクリックします。

をクリック

パソコンの学習

楽しみながらパソコンの基本操作を学習!!

使い方を知りたい

パソコンのさまざまな使い方を紹介!!

トラブル解決

トラブルの解決をお手伝い!!

付属ソフトウェア

付属ソフトウェアの概要やお問い合わせ先を紹介!!

最新情報はこちらから

この製品の最新情報をホームページで確認!!

サポート&サービス

使い方相談や修理相談の窓口を紹介!!

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

パーソナルコンピュータ PC-AX50M / PC-AX100M

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ　低消費電力設計

● パソコン部(PC-AX50M/PC-AX100M)の最大消費電力を約90Wにまで低減。
当社AVセンターパソコン(PC-TX32K/PC-TX100K)に比べ約58%低減しています。

● 国際エネルギースタープログラム対象商品に関する基準を満たしています。

グリーン材料　環境に配慮した材料を採用

● 主要基板に無鉛はんだを採用しています。

● 特定化学物質※の含有率を「電気･電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」(通称J-Moss)で定められる基準値以下におさえています。

※　鉛･水銀･カドミウム･六価クロム･PBB(ポリ臭化ビフェニール)･PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)。
なお、一部の電子部品に含まれる鉛はJ-Mossの除外項目に該当します。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の『サポートのご案内』をご参照ください。

● インターネット AQUOS ホームページ　http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

©2006 SHARP CORPORATION

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。